

# 令和2年度 事業報告書

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月31日

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会



# 令和2年度 事業報告

少子高齢化や世帯人員の減少、単身化の進行などによる、孤立死や認知症高齢者の増加、住民同士のつながりの希薄化や経済的困窮などを背景とした社会的孤立や子どもの貧困など、地域における福祉課題が複雑多様化する中、既存のサービスだけでは対応できない、いわゆる「制度の狭間」で支援を必要としている人たちを支える地域づくりの必要性が高まっている。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの日常生活は大きく変わり、地域の福祉活動にも大きな影響を及ぼした。

そのような中、本会では、令和2年4月に市社協と各区社協の法人を統合し、区社協職員がより一層地域福祉活動の支援に細やかに注力できる体制を整えるとともに、第5期地域福祉活動計画の最終年として、5年間で得られた成果や課題を評価・分析し、第6期地域福祉活動計画の策定を進めた。

「終活サポートセンター」については、今後、より増加していくニーズに対応できるよう体制整備や啓発を強化したほか、「住まいサポートふくおか」の支援対象を障がい者世帯へ拡大することを目指し、令和2年度は障がい者支援のモデル対象エリアを増やしてスキームの検証を行った。

そのほか、新型コロナウイルスの影響によりアウトリーチの機会が制限される中ではあったものの、生活支援コーディネーターや地域福祉ソーシャルワーカー、買い物支援推進員を中心に、地域課題の把握や社会資源の創出、ネットワークづくりなどに取り組んだ。

そして、「新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付」の業務執行には、限られた資源で膨大な事務を円滑に進めるため、部署の垣根を超えて職員一丸となって取り組んだ。

令和2年度の主な実施事業は、以下のとおりである。

## 【重点項目】

### 1. 小地域福祉活動の推進

- (1) 校区社会福祉協議会強化への支援

### 2. ボランティアによる社会参加の拡大

- (1) 社協ボランティアセンターの取組みの推進
- (2) シニアボランティアに関する取組みの推進
- (3) 災害ボランティア活動の推進

### 3. 生活課題解決モデルの開発

- (1) 買い物支援の仕組みづくり
- (2) 住まい・まちづくりセンターの新設
- (3) 終活サポートセンター事業の推進
- (4) 地域力強化事業
- (5) ケアリングコミュニティの研究とICTを利活用した実証実験

### 4. 拠点型地域福祉の推進

- (1) 「地域の子ども」プロジェクト
- (2) 遺贈と空家の活用による地域福祉の拠点づくり

### 5. 社会福祉法人等による地域における公益的な取組みに向けての協働

- (1) 事業所ネットワークの支援
- (2) 地域課題解決モデル創造事業
- (3) 専門スタッフ派遣事業

### 6. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 生活支援コーディネーター業務の実施によるCSWの機能強化
- (2) 地域包括支援センターの受託の検討

### 7. 権利擁護事業の拡充

- (1) 判断能力が不十分な人の自立に向けた支援の強化～日常生活自立支援事業
- (2) 法人後見事業の推進
- (3) 市民後見人養成事業の推進
- (4) 成年後見制度利用促進のための中核機関の受託に向けた体制整備
- (5) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

### 8. 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育関連事業の見直し構想の実践
- (2) 関係団体との協働による福祉・介護人材確保に向けた啓発事業の推進
- (3) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進
- (4) 第6期地域福祉活動計画の策定

### 9. 生活困窮者への支援の推進

- (1) 生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携、支援
- (2) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

### 10. 運営等及びその他

- (1) ファンドレイジング推進体制の強化

## 重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和3年3月31日現在のもの。

※「中止」「延期」と記載があるものは、すべて新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるもの。

### 1. 小地域福祉活動の推進

#### (1) 校区社会福祉協議会強化への支援

住み慣れた地域で、誰もが自分らしく安心して暮らせる「ともに支えあう福祉のまち」をめざし、小地域福祉活動の活性化と更なる充実に向けて、校区社協を中心とした活動を推進した。特に、コロナ禍の中での「はなれてもつながる」活動の重要性を啓発するとともに、地域の知恵と工夫による様々な事例を積極的に発信した。

##### ① 地域特性に応じた福祉活動の展開

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め今後の活動目標等を見える化し、実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催するとともに、その内容をより多くの住民で共有するため、2校区で「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援した。

これまでに市内55校区のプラン策定を支援している。

〔令和2年度新規策定校区〕

区	校区	プラン名
東	千早	なかのよか街 千早プラン
南	三宅	三宅校区福祉のまちづくりプラン



##### ② 校区社協の基盤となる活動の拡充

###### (ア) ふれあいネットワーク活動の拡充

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを支援した。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成した。

〔実施自治会（町内会）率〕 85.0%      〔助成額〕 17,787,789円

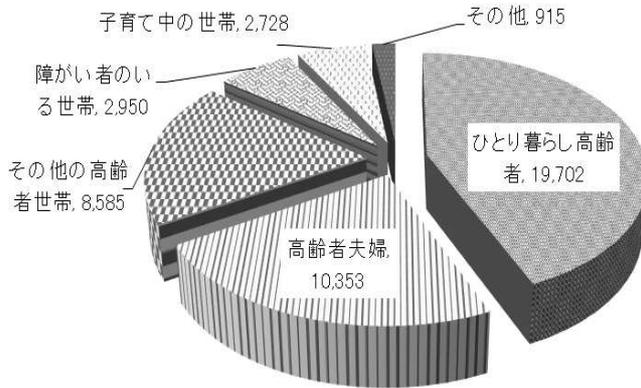
〔活動状況〕

( )は前年比の数字

区	校区数	実施校区数	助成校区数	実施自治会数	助成自治会数	対象世帯数	ボランティア数(人)
東	30 (1)	27	26 (△1)	377 (6)	368 (△3)	9,334 (△1,031)	2,915 (△17)
博多	22	20	20	295	295	5,479 (34)	1,521 (△8)
中央	14	11 (△1)	11 (△1)	292 (△1)	292 (△1)	6,777 (2,024)	1,011 (66)
南	25	25	25	301 (△5)	301 (△5)	7,953 (1,020)	2,229 (△361)
城南	11	11	11	146 (△5)	146	3,407 (△214)	1,386 (△12)
早良	25	22 (1)	22 (1)	224 (△19)	224 (△19)	5,987 (△1,130)	1,904 (△11)

区	校区数	実施校区数	助成校区数	実施自治会数	助成自治会数	対象世帯数	ボランティア数(人)
西	24	22	21 (△1)	156 (△2)	154 (△4)	6,296 (△134)	1,657 (△53)
合計	151 (1)	138	136 (△2)	1,791 (△26)	1,780 (△32)	45,233 (559)	12,623 (△396)

〔活動対象世帯内訳〕



〔活動内容内訳〕（重複あり）

活動内容		世帯数
安否確認・声かけ・話し相手		45,233
保健福祉サービスの紹介		2,462
生活の支援	ゴミ出し	541
	電球の取り替え	219
	買物代行・薬取り	190
	家事援助（掃除・洗濯・炊事など）	153
	外出援助（通院・買物付添など）	177
	急用時の子どもの送り迎え・預かりなど	20

i) ふれあいネットワーク研修会の実施

「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、各校区のふれあいネットワーク担当者・役員を対象に、コロナ禍の中でもつながりを切らない取組みを支援するため、地域の実情に応じた研修会を実施した。

〔実施状況〕区単位：2回（DVDの配付やアンケートの実施によるもの）

校区・町内単位等：104回（参加者数2,512人）

ii) 新規立ち上げ支援事業の実施【早良】

年度途中で新規で見守りを開始する自治会・町内会に対し、活動費の助成を行った。

〔助成状況〕4町内 各5,000円

(イ) ふれあいサロン活動の拡充

一人暮らしや身体機能の低下等により家に閉じこもりがちな高齢者等の引きこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操等の活動を取り入れ、交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援した。特に、地域の実情に応じたふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行った。また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費や新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら利用者支援につながるための費用を助成した。

〔助成額〕14,496,105円

(内訳) サロン活動助成：9,454,791円

利用者支援助成：5,041,314円

〔活動状況〕

( )は前年比の数字

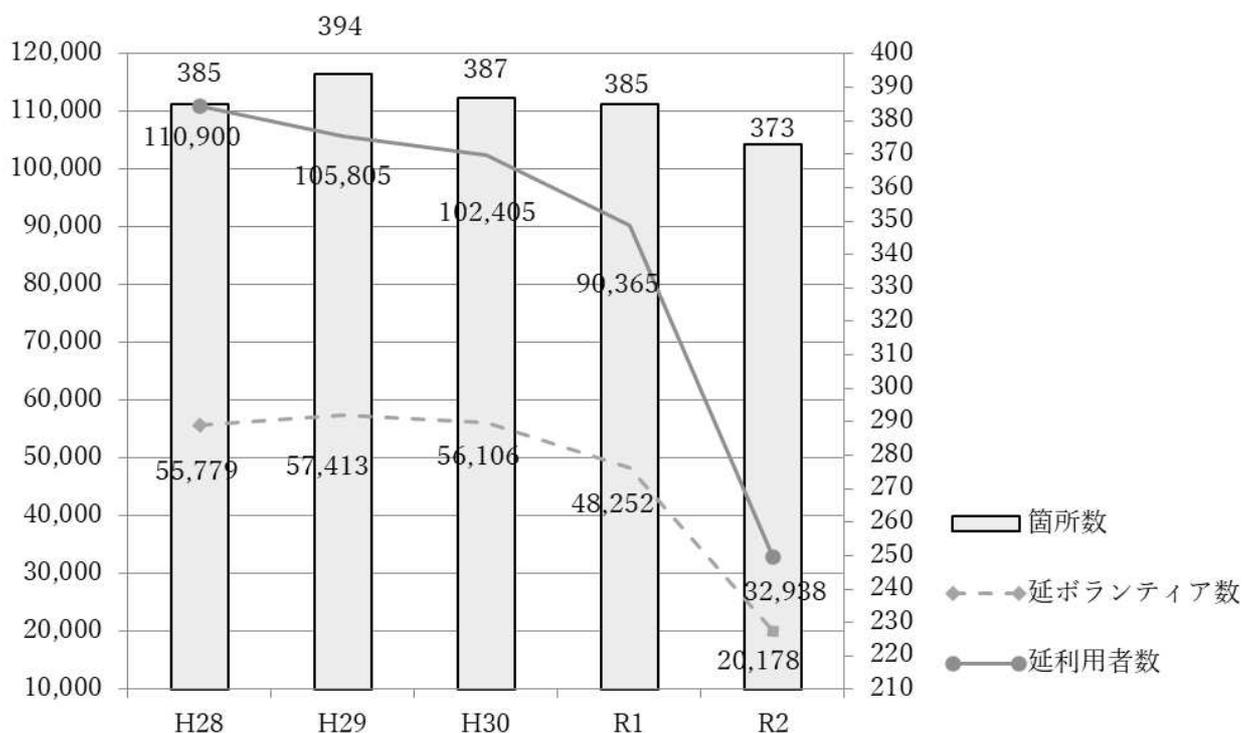
区	校区数	助成校区数	助成箇所数	延実施回数	延利用者数(人)	延ボランティア数(人)
東	30 (1)	26	76 (1)	553 (△642)	5,973 (△12,203)	3,953 (△6,034)
博多	22	19 (1)	50	521 (△336)	5,801 (△6,093)	2,740 (△2,504)

区	校区数	助成校区数	助成箇所数	延実施回数	延利用者数(人)	延ボランティア数(人)
中央	14	13	29 (1)	185 (△184)	1,510 (△3,316)	1,129 (△1,958)
南	25	24	44 (△1)	380 (△365)	3,823 (△7,098)	2,359 (△3,286)
城南	11	11	41 (△3)	295 (△330)	3,106 (△6,165)	1,793 (△2,712)
早良	25	23	57 (△2)	612 (△630)	6,473 (△9,873)	4,594 (△5,472)
西	24	22	76 (△8)	632 (△777)	6,252 (△12,679)	3,610 (△6,108)
合計	151 (1)	138 (1)	373 (△12)	3,178 (△3,264)	32,938 (△57,427)	20,178 (△28,074)

(参考) 1回あたりの平均利用者数：10.4人 (△3.6人)

1回あたりの平均ボランティア数：6.3人 (△1.4人)

[助成箇所数、延ボランティア数、延利用者数の推移]



※新型コロナウイルスの感染拡大により年間実施回数が大幅に減少したため、延べ利用者人数及び延べボランティア人数が減少したものの。

#### i) ふれあいサロン研修会の実施

「ふれあいサロン活動」の更なる拡充に向け、各校区のふれあいサロン担当者・役員を対象に、新型コロナウイルスの感染対策を講じた運営やプログラムの支援、「はなれてもつながる」取り組みも周知・啓発するなどの研修会を実施した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、一部実施計画を変更して資料を送付したり、実施を断念した区もあった。

[実施状況] 区単位：2回、校区・町内単位等：5回 (参加者数71人)

ii) 出前講座協力機関情報の提供

ふれあいサロン等へ、講話やレクリエーションなどの出前講座ができる企業・団体等の冊子を作成・配布し、プログラム策定の支援を行った。

iii) 介護予防機能強化に向けたプログラム指導者等の派遣

ふれあいサロン等における介護予防機能強化を目的として、区社協で養成したボランティアをグループ化し、指導者として派遣を行った。

区	グループ名	派遣先	派遣回数
東	お元気届け隊	ふれあいサロン	12
博多	お元気届け隊	新型コロナウイルスの感染拡大により派遣は中止し、定例会を1回、運動指導士を招いての勉強会を1回実施した。	
城南	楽しか隊	ふれあいサロン	1

③ 超高齢社会・大介護時代の到来に備える活動の拡充

(ア) ご近所お助け隊支援事業

i) 生活支援ボランティアグループの立ち上げ・運営支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行う「生活支援ボランティアグループ」に対して、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを支援した。

[活動団体数] 44団体

ii) 生活支援ボランティアグループへの費用助成

「ご近所お助け隊支援事業」として、新規立ち上げ時の初期費用及び運営体制強化の費用を助成し、生活支援ボランティアの活動を支援・促進した。

[助成団体数・額] 11団体・619,000円

区	団体数	立ち上げ助成数	運営強化助成数
東	2	1	2
博多	2	1	2
中央	0	0	0
南	3	1	2
城南	0	0	0
早良	3	1	2
西	1	0	1
合計	11	4	9

※重複あり

iii) 生活支援ボランティア研修会及び交流会（福岡市委託事業）

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶとともにお互いの活動状況や課題等の意見交換を行った。

実施日	講師	参加者(人)
12月21日	壱岐南てつだい隊 ・壱岐南校区社会福祉協議会 会長 新里幸吉 氏 ・壱岐南公民館 館長 本庄敏雄 氏 ・社会福祉法人さわら福祉会 特別養護老人ホームマナハウス 施設長 小金丸誠 氏	28

## (イ) 在宅介護者のつどい事業

### i) 家族介護者のつどいの実施（一部福岡市委託事業）【附属明細書：P.1（別表1）参照】

寝たきり高齢者や認知症高齢者、障がい者等を家庭で介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを10か所で行った。

### ii) 男性家族介護者のつどい「手軽にできる料理教室」(福岡市委託事業)

実施日	内容	参加者(人)
3月25日	男性の家族介護者を対象に、自宅で手軽にできる料理の講座と介護者同士の意見交換・懇談会を実施。	8

### iii) 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行うとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みづくりに努めた。

## 2. ボランティアによる社会参加の拡大

### (1) 社協ボランティアセンターの取組みの推進

ボランティア活動における課題解決力の向上と活動者やグループの増加を目指し、各種団体との連携により、活動の裾野を広げる取組みを進めた。

[グループ登録数の推移]

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
グループ数	226	229	218 (うち新規登録5団体)

### (2) シニアボランティアに関する取組みの推進

#### ① シニア世代の活動支援事業（区シニア地域サポーター養成講座）

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し修了者を地域の福祉活動につなげた。

	内容	受講者(人)	活動開始者(人)
本部	知的障がい者・発達障がい者支援ボランティア養成講座	21	7
東	子ども食堂ボランティア養成講座	35	24
博多	ボランティア活動の為にオンライン会議入門講座	※中止	-
中央	シニア地域サポーター養成講座	26	2
南	南区地域デビュー！スマホ写真講座	10	0
城南	シニアボランティア養成講座（絵手紙ではなれてもつながる）	※中止	-
早良	シニア絵手紙ボランティア養成講座	20	8
西	ボランティア活動のためのオンライン会議入門講座	17	17
合計		129	58

## ② 介護支援ボランティア事業（福岡市委託事業）

高齢者（65歳以上）の社会参加、生きがいづくりや介護予防を促進するため、介護保険施設等でのボランティア活動を奨励した。また、活動により付与されたポイントを、換金または寄付に活用していただいた。

〔活動者の状況〕 (令和2年12月末現在)

個人登録者(人)	2,149
登録施設(箇所数)	511
令和2年中の活動者(ポイント所有者)	722 (登録者の33.6%)

換金申請者	人数	金額
奨励金交換者	189人	396,400円
寄付者	173人	155,000円
合計	362人	551,400円

※1日1時間以上の活動=200ポイント=200円に換金。換金の上限は5,000円。

〔活動内容〕 (令和2年1月～令和2年12月累計)

活動種別	延活動者(人)	活動種別	延活動者(人)
レクリエーション・囲碁将棋	2,042	食事介助の補助	332
芸能	828	行事の手伝い	36
話し相手	990	入浴介助の補助	38
清掃・衣類整理	525	その他	255
合計			5,046

## ③ その他シニア世代のボランティア活性化の取組み

### (ア) 講座・交流会の実施

実施日	内容	受講者(人)
10月3日～12月19日(全7回)	傾聴ボランティア体験講座 (スキルアップ)	20

### (イ) イベントへの参加

実施日	内容
11月19日	福岡地区“70歳現役を目指す”高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会

## (3) 災害ボランティア活動の推進

災害ボランティアセンターの設置・運営に関するマニュアルの改訂やコロナ禍の中での考え方の整理を行ったほか、災害支援ボランティア登録制の開始や、福岡市との協働により災害支援団体やNPO等との連携体制づくり、災害ボランティアセンター設置・運営訓練等に取り組んだ。

### ① 災害ボランティアセンター運営の基盤づくり

#### (ア) 「福岡市災害ボランティアセンター運営マニュアル」の改訂(第2版)

平成24年11月に策定したマニュアルについて、近年の他地域の災害の状況等も踏まえ、内容の改訂を行った。改訂にあたっては、行政関係部署や災害支援団体等との意見交換会を開催し、意見・助言を聴取した。

(イ) 「新型コロナウイルスの影響下における災害ボランティアセンターの設置・運営の考え方」(第1版)の作成

コロナ禍により災害ボランティアセンター運営のあり方が変化していることを踏まえ、全国社会福祉協議会が示した考え方等に基づき、福岡市災害ボランティアセンターの設置・運営の考え方を福岡市との協議を踏まえ整理した。

(ウ) 災害ボランティアセンター運営に関する他市調査の実施

指定都市社協及び令和2年7月豪雨の被災地社協を対象に、多様な主体との連携の状況や新型コロナウイルスへの対応等に関する実情と課題を把握するための調査を実施した。

② 令和2年7月豪雨災害の被災地への支援

(ア) 福岡青年会議所との連携

本会と災害時相互協力協定を締結している一般社団法人福岡青年会議所が、災害ボランティアに必要な資機材や支援物資の収集と被災地への運搬・寄贈を行うにあたり、収集の拠点場所を本会で確保・提供する協力を行った。集められた物品は大牟田市や熊本県へ提供された。

(イ) 被災地の災害ボランティアセンターの運営支援

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、幹事の大分県社協からの要請を受け、令和2年7月豪雨の被災地社協が設置する災害ボランティアセンターへ職員を派遣した。

派遣先	期間	内容	派遣人員(人)
熊本県八代市 災害ボランティアセンター	8月11日 ～8月15日	災害ボランティアセンター運営支援、 現地でのニーズ調査、資機材管理など	1
熊本県 災害ボランティアセンター	8月27日 ～8月31日	災害ボランティアセンター運営支援、 活動希望者の対応、物資整理など	1

③ 行政や多様な主体(災害支援ボランティア団体等)との連携・協働

(ア) 災害支援ボランティア団体等の登録制の開始

災害支援に取り組むボランティア、NPO、団体、企業などの登録制を創設した。

〔登録団体数〕9団体

(イ) 災害支援ボランティア団体等との意見交換会(オンライン開催)

実施日	テーマ	内容
9月5日	福岡市における災害ボランティアについて 考えよう	パネルディスカッション、意見交換
1月26日	災害ボランティアセンター運営と災害支援 を行う団体等との連携について	福岡市社協からの報告、意見交換

(ウ) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ※福岡市市民局との共催

実施日	会場	参加者	内容
3月6日	福岡市NPO・ボランティア 交流センターあすみん	社協職員、市職 員、災害支援団体	災害ボランティアセンターの役 割を学ぶ座学、災害ボランティア センター設置・運営の体験・訓練

#### ④ 災害ボランティアの裾野を広げる市民啓発や人材育成の取組み

##### (ア) 災害ボランティア研修会（オンライン開催）

実施日	テーマ	内容
2月27日	令和2年7月豪雨の実践事例に学ぶ	中長期的な支援活動の必要性やコロナ禍の中での災害支援について学ぶ講話

##### (イ) 防災イベントへの参加

実施日	イベント名(会場)	参加者	内容
3月21日	防災の学校 (BRANCH福岡下原)	会場周辺地域の自治協・自主防役員、防災士など	災害ボランティアセンターについて

##### (ウ) 福岡市ホームページへの動画掲載による市民啓発

市ホームページ内で、令和2年9月より開設された「災害ボランティアに関する情報」ページ内において、災害ボランティアセンターの概要や役割について紹介する動画(説明)を社協が担当し、市民への啓発を実施した。

### 3. 生活課題解決モデルの開発

#### (1) 買い物支援の仕組みづくり（一部福岡市委託事業）

##### ① 地域との協働による買い物等支援推進事業（福岡市委託事業）

##### (ア) 買い物支援モデルの構築

市社協地域福祉課に買い物支援推進員を1名配置し、各区社協の生活支援コーディネーター及び地域福祉ソーシャルワーカーと連携して、買い物支援モデルの構築に向けて取り組んだ。

令和元年度に公募し、選定したモデル地域において、持続可能な実施手法や各支援に合う地域特性の整理、他地域で実施するための条件の整備などに着手した。

また、買い物支援実践者や有識者などからなる選考・検証委員会を設置し、モデル地域の事業実施状況の検証を行った。

[モデル実施団体と買い物支援の形態]

団体名	買い物支援の形態	協力事業者	実施頻度
美和台校区自治協議会	移動販売車	筑前はかたや、株式会社大輝	毎週木曜・金曜
城浜校区自治協議会	移動販売車	株式会社大輝	第2・4土曜
下月隈団地自治会	臨時販売所の開設	株式会社大輝	第2・4木曜
東花畑校区自治協議会	買い物先への送迎	西日本典礼やよい坂斎場 福岡病院 農産物直売所ぶどう畑 イオンスタイル笹丘店	第3木曜
能古校区自治協議会	買い物先への送迎	株式会社サングリン 特別養護老人ホーム能古清和園	本格実施については協議中
香住丘校区自治協議会	車両貸出による買い物先への送迎	—	毎週月曜・水曜・金曜

〔選考・検証委員会の開催〕

日時	協議内容
10月30日	①各実施団体の取組状況の報告と意見交換 ②各買い物支援手法の他地域への展開可能性、買い物支援の手法の整理 ③買い物支援の取組みの総括
3月22日	①各実施団体の取組状況の報告と意見交換 ②買い物支援セミナーについて ③買い物支援意見交換 ④令和3年度における事業内容（予定）

(イ) 買い物支援に協力する企業等を確保する取組み

「買い物支援の福岡100PARTNERS」に登録する企業・団体（25社）を、地域のニーズに応じてマッチングし、買い物支援の仕組みづくりに取り組んだ。

また、企業等の買い物支援に対する理解を促進するとともに、買い物支援に協力する企業等の拡大に向けたセミナーを実施した。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインにて開催した。

実施日	内容	参加者（人）
3月3日	(講話) 地域と事業者のいい関係づくり (講話) 福岡市内の買い物支援の事例紹介 (シンポジウム) 買い物支援に取り組む事業者によるシンポジウム	38

② 住民参加型の買い物支援の実施【附属明細書：P.1（別表2）参照】

区社協において、宅配を行う店舗等を一覧にした「買い物支援ガイドブック」を更新するとともに、上記モデル地域以外においても、民間企業や社会福祉法人が所有するマイクロバスを活用した買い物先への送迎、社会福祉法人やNPO法人による移動販売の仲介、地域カフェなどでの青空市の開催支援など、ニーズやその地域の社会資源に合わせた買い物困難者への支援に取り組んだ。

(2) 住まい・まちづくりセンターの新設

① 住まいサポートふくおか（福岡市居住支援協議会事業）

住み替えに困っている高齢者世帯を対象に、入居支援と入居後の生活支援をコーディネートした。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」（事業運営の基盤となる仕組み）を運営した。

併せて、支援対象を高齢者世帯から障がい者世帯へ拡大することを目指し、令和2年度より東区に加えて中央区を対象エリアとしてモデル実施した。同時に、協力店や精神科病院、障がい者支援関係団体等との更なる連携を通じ、障がい者支援スキームの検証を行った。

〔登録・相談実績等〕

協力店登録社数	支援団体登録数	相談受付数	賃貸借契約締結数
53社	14団体	265件	35件

〔内数：障がい者モデル実施区域内の実績〕

区域	相談受付数	賃貸借契約締結数
東区	23件	6件
中央区	7件	1件

〔プラットフォーム連絡会議〕

実施月	内容
11月	事業進捗報告、情報共有、意見聴取等（※書面開催）

② 住まいと住まい方支援事業（居住支援法人事業）

住宅確保要配慮者（高齢者を除く）を対象に、「住まいサポートふくおか」や「生活福祉資金貸付事業（転宅費）」等の市社協各事業間及び他の関係機関との連携を通じて、主に市内民間賃貸住宅への入居支援と入居後の生活支援をコーディネートした。

〔相談実績等〕 相談受付数：88件、賃貸借契約締結数：13件

③ 社会貢献型空家バンク事業

増加する空家の地域密着型の居場所や子ども食堂、ふれあいサロンや地域カフェなどの福祉活動の拠点づくりでの活用を進める「社会貢献型空家バンク事業」に取り組み、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組みの運用として、専門家会議やコーディネーターの育成、相談受付を行った。また、マッチングから活用プロセスの「見える化」を図るため、これまでに本会が関わってきた本事業の経過を動画にまとめた（社会貢献型空家バンクのホームページ等にて公開予定）。

〔新たに開設した拠点〕

名称	活用開始時期	校区	活用方法
みんなのおうち ゆい	令和2年10月	早良区東入部	子どもの居場所

※令和3年4月～第1・3土曜13:00～17:00開設、区社協を通じて地域への周知等を行った。

(3) 終活サポートセンター事業の推進

① 人生の終末期に向けた準備や自己実現の支援

終活に関する幅広いニーズに応じた情報提供等を行うため、終活全般の相談対応や情報提供を行う窓口を常設したほか、専門性の高い相談については弁護士等による予約制相談窓口を定期開設した。また終活に関する啓発や幅広いニーズに応えるため、出前講座を実施するとともに、福岡市からの委託を受け、終活の第一歩を考えるためのセミナーを開催した。

〔終活サポートセンター 相談実績〕

電話相談	605
来所相談	157
（うち予約制相談）	(56)
訪問等	34
合計	796

〔終活出前講座〕 附属明細書：P.3（別表3）参照

〔終活応援セミナー〕（福岡市委託事業）

実施日	内容（テーマ）	講師	形式	参加者（人）
10月10日	「終活、はじめてみませんか？」 ※10日、12日の両日とも同内容	眞武純哉 氏 （終活パートナー 九州代表）	会場での 対面式	37
10月12日				41
2月15日～ 3月14日	①「ぶち当たる壁」	吉武ゆかり 氏 （一般社団法人ゆ ずりは代表理事）	動画をオ ンライ ン配 信	379
	②「大事なものはコッチ」			217
	③「自分にとって必要な手続きを」			188
合計（延べ）				862

## ② 死後事務委任に関する事業

### (ア) ずーっとあんしん安らか事業

死後事務を委任できる親族がいない高齢者等が安心して生活できるよう、本人との死後事務委任契約に基づき、定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行うとともに、契約者が死亡した場合には、事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行った。

[対応件数] (件)

相談	328
新規契約	10
現契約	82
入退院支援	23
自宅・病院への臨時対応	287
葬儀・家財処分実施	7
解約	2

### (イ) やすらかパック事業

「ずーっとあんしん安らか事業」の預託金の一括準備が困難な人等に対応できるよう、少額短期保険を活用した定額の利用料金の月払い制度により、死亡後の葬儀、納骨（永代供養）、家財処分の費用等を保険金で対応し、死後事務を実施した。

[対応件数] (件)

相談	233
新規契約	7
現契約	42
葬儀・家財処分実施	1
解約	2

## (4) 地域力強化事業（福岡市委託事業）

地域において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる環境整備を図ることを目的に、「地域共生社会の実現に向けた地域力強化事業事例集」を4,500部作成し、校区社協や民生委員児童委員など地域関係者や、施設等に配布した。また、多様な社会資源を活用し、ネットワークを構築して支えあう取組みを紹介するため、「地域ささえあい“共生”セミナー」を実施した。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインにて開催した。

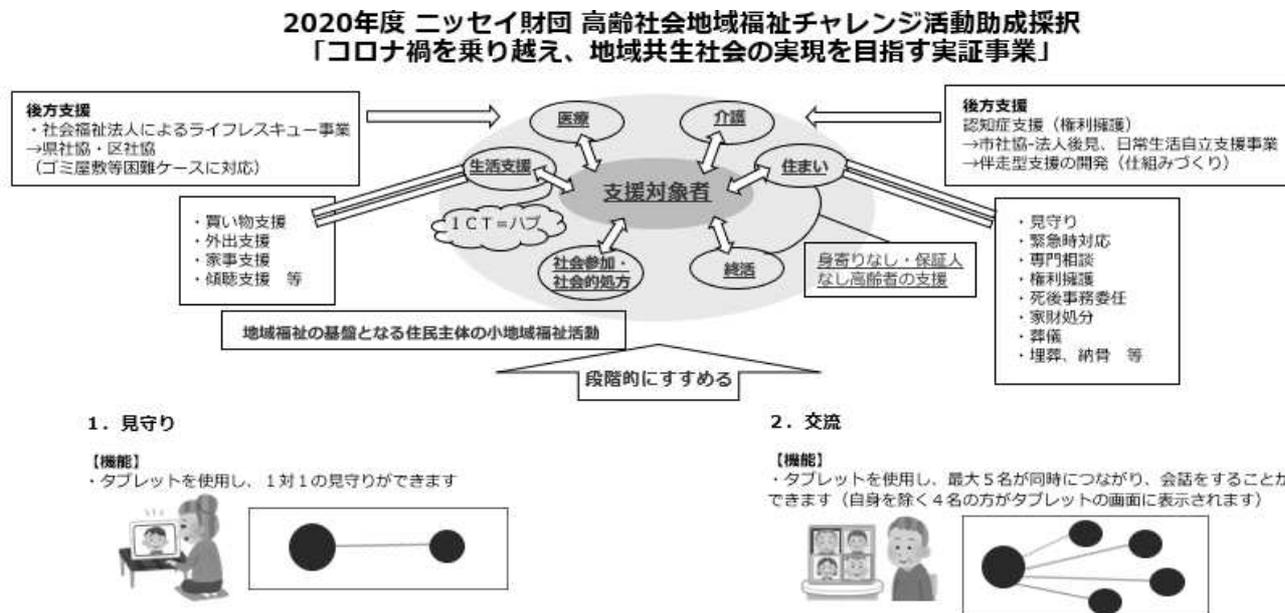
実施日	内容	参加者 (人)
2月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演 「地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動の展開」 九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 高野和良 氏</li> <li>・パネルディスカッション 【コーディネーター】 九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 高野和良 氏</li> <li>【パネラー】 野芥校区社会福祉協議会 会長 行徳收司 氏 さわら南よかこネット 代表 林隆一 氏 ダイキョーバリュー弥永店 店長 浦田一延 氏</li> </ul>	38

## (5) ケアリングコミュニティの研究とICTを活用した実証実験

新型コロナウイルスの感染者増加に伴い、本事業の運営にかかる重層的プラットフォームの中心を担う予定であったクリニックが、本事業のプランニングに参画することが困難になった

ため、非対面の交流を実現するツールとして「見守り・交流アプリ」を開発し、モデル校区において住民説明会やアプリの試行機会を設定した。

なお、ケアリングコミュニティの段階的な形成を図るため、本事業の次のステージである「要援護者がサービスや活動につながりやすい、助けを求めやすい環境と支援者側のスムーズな連携を図る」ハブ機能ツールである「コールセンターアプリ」も併せて開発している。



## 4. 拠点型地域福祉の推進

### (1) 「地域の子ども」プロジェクト（一部福岡市委託事業）

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域との関係が薄く孤立し、生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、子どもの分野における地域福祉としての実践モデルの構築を目指すとともに、スクールソーシャルワーカー等とのネットワークを構築し、子どもに焦点を当てた支援ノウハウの蓄積を進めるプロジェクトに取り組んだ。

#### ① 子ども食堂の支援

共働き世帯やひとり親家庭をはじめ家庭環境等様々な要因により一人で食事を取ったり、家で十分な食事が取れなかったりする子どもに対し、地域や学校、企業、団体、行政等と連携し、食事の提供をとおして子どもを支える地域づくりに取り組んだ。

#### ② 子どもが安心して交流や学習のできる居場所づくり

地域住民が主体となって実施する子どもやその親が安心して過ごせる居場所づくりや、多世代との交流をとおして生活習慣等を子どもが身につけ自立して生きる力を育む取組み、学生ボランティア等と連携した学習支援の取組み等を支援した。

〔区社協が支援した居場所づくり〕 附属明細書：P.4（別表4）参照

#### ③ 子どもの居場所づくり等に関わる支援者のネットワークづくり

地域の実情に応じた運営を支援するため、各区で団体同士の情報交換やスクールソーシャルワーカーとの連携強化を目的とした交流会を実施したほか、福岡市子どもの食と居場所づくり支援事業補助金の申請等の受付業務を含め団体の新設や運営の支援を行った。

〔食と居場所づくり団体の交流・情報交換会〕 附属明細書：P.5（別表5）参照

〔SSWとCSWとの合同研修〕

実施日	内容	参加者（人）
9月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSWの取組みについて 「コロナ禍での子ども達の状況について」 金武小学校スクールソーシャルワーカー 田上麻衣子 氏</li> <li>・CSWの取組みについて 「子どもの居場所の立上げにおけるSSWとCSWの連携について」</li> <li>・情報交換</li> </ul>	51

(ア) 子ども食堂等への食材提供の仕組みづくり

令和元年度から子ども食堂の多くが抱える食材調達の困難さへの支援策として、JA福岡市の直売所の出荷者の協力を得て、子ども食堂等への食材提供支援事業を実施した。

また、新たな食材提供の仕組みとして、ベジフルスタジアム活性化委員会との協働事業に向け、関係者との協議を重ね、令和3年4月から実施することとなった。

(イ) 企業等からの寄贈品のコーディネート

企業等から物品や食料等を提供したいとの相談を受け、市内の子ども食堂との連絡調整窓口となり、寄贈のコーディネートを行った。

(2) 遺贈と空家の活用による地域福祉の拠点づくり

今後さらに拡大が見込まれる遺贈ニーズへ対応するため、遺贈について積極的に広報することを目的に、様々な事業に活用していけるよう専用のリーフレットを作成し、司法書士、弁護士、行政書士、信託銀行、公証役場等へ配布した。

また、増加する空家の地域密着型の居場所や福祉活動の拠点づくりでの活用を進める「社会貢献型空家バンク事業」に取り組み、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組みの運用として専門家会議やコーディネーターの育成、相談受付を行った。

**5. 社会福祉法人等による地域における公益的な取組みに向けての協働**

(1) 事業所ネットワークの支援

地域の課題解決に向け、地域の専門職が連携して取り組めるよう、福祉・介護・医療・障がい等の事業所のネットワーク構築や運営を支援した。また、地域福祉ソーシャルワーカーを中心に、地域からの個別支援やイベント等の支援ニーズと、事業所が提供できる活動や機能を把握し、地域の実情に応じて事業所ネットワークと地域とのコーディネートに取り組んだ。

(2) 地域課題解決モデル創造事業

社会福祉法人等との協働により、買い物困難者支援や移動困難者支援、認知症高齢者等検索サポート体制整備、生活困窮者等への食糧支援、居室清掃活動等の地域課題を解決するための取組みを、地域で求められるサービス等についての提案等を行い、支援した。

① 福祉施設が行う地域貢献サポート事業

区	内容
博多	令和元年度に施設の提供メニュー冊子を作成し配布。令和2年度は、それを基に車いす貸し出しの紹介等を行った。
南	施設の提供メニュー冊子を窓口に設置し、区民への情報提供を行った。

② 地域カフェの支援【南】

施設と住民が協働し、施設職員や利用者、地域高齢者・住民、ボランティアが垣根を作ら

ず、誰もが気軽に立ち寄り、お茶などを飲みながら、会話や交流できる居場所（地域カフェ）を実施する団体に対して助成した。

〔支援状況〕 13校区 22か所（参加者数3,015人）

### ③ 行方不明高齢者捜索活動の仕組みづくりの支援

区	校区	内容
博多	堅粕	行方不明高齢者捜索活動のデモ実施の方向性について地域役員と話し合い、デモンストラクション実施に向けて合意形成を行った。
	板付	認知症で行方不明となるおそれのある人を事前に登録し、行方不明者発生時に協力者の住民や会社などが捜索する「ちょっと一声、見守り隊」の仕組みづくりを支援した。
	板付北	校区内にあるタクシー会社と校区自治協が協定を結び、認知症サポーター養成講座を受けたタクシー運転手が道に迷った高齢者に声かけ、自宅まで送り届けた後、会館へ連絡をする「いまだこシステム」の仕組みづくりを支援した。
西	周船寺	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため自治会ごとに小規模で訓練を行うこととし、避難行動要支援者を交えた避難訓練と併せて行方不明者捜索・声かけ訓練を行った。
	壱岐	事業所ネットワークと連携し捜索活動の訓練を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。

### (3) 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣を95件コーディネートし、プログラムの充実に向けた支援を行った。

## 6. 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

### (1) 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化

福岡市が地域包括ケア推進のため実施している「生活支援体制整備事業」の委託を受け、各区1名の生活支援コーディネーターを配置した。

社協の生活支援コーディネーターは、地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの密着した関係性という強みを活かし、地域課題の把握や事業者等への参画を働きかけ、包括圏域や区域における社会資源の創出を支援するとともに、地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めた。

また、生活支援コーディネーター業務を受託し、区社協のCSWが生活支援コーディネーター業務を経験することにより、CSWのスキルアップと機能強化を図った。

多様な取組みの主な事例	主な支援内容
①ボランティアグループとの協働によるコロナ禍の中での孤立防止の取組み	・人との接触が制限されるコロナ禍のため、外出を控え、会話することが少なくなった人の孤立感を軽減するため、傾聴ボランティアグループとの協働により、区民を対象に10分間電話で話し相手をする取組みを開始した。
②産学官民による見守り連携	・大学による認知症高齢者支援に必要なコミュニケーションに関する研修を受講したガス検針員等と地域住民（ふれあいサロン・ふれあいネットワーク）の顔の見える関係作りを継続してサポートし、支援の必要な高齢者の見守りに企業が協力する仕組みづくりを構築した結果、ガスの出前講座開発につなげ、区内全体へ展開した。

多様な取組みの主な事例	主な支援内容
③お寺を活用した住民支援ネットワークの構築	・お寺という住民に馴染みのある社会資源を活かして、コロナ禍で孤立しがちな介護者支援のプログラムを実施。介護者同士だけでなく、相談先になりうるお寺の住職、近隣の薬局や福祉専門職などともつながる機会を支援した。
④サロンの介護予防機能の検証	・高齢化率が高いにも関わらず介護認定率が低い地域において、ふれあいサロンが介護予防に与える影響・効果についての検証を、事業所ネットワークや地域包括支援センター・区役所と連携して体力測定を実施。大学教授に分析の協力を依頼した測定結果のデータを基に、ふれあいサロンが介護予防のツールになっていることを検証し、学会発表に向けて抄録をまとめた。
⑤事業所ネットワークの立上げと地域との連携	・地域包括支援センター・区役所と連携し、施設や事業所、医療機関等のネットワークを立上げ、多くの事業所が連携して、校区と関わりが持てるようにつなぎの支援を行った。今後、地域福祉活動の新たな担い手と活動の広がりが期待される。
⑥地域と医療機関の覚書による個人情報共有の仕組みづくり	・地域での見守りや安否確認の充実のため、校区自治協と校区内の医療機関とで覚書を交わし、必要時に校区からの問合せに応じて、見守り対象者等が入院していないか等の情報を本人の同意の上で校区と共有する仕組みづくりを提案し、覚書締結に向け準備を進めている。(コロナ禍で医療機関が多忙のため年度内に締結には至らなかった。)
⑦オンラインを活用したコロナ禍の中での地域支援	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、公民館やサロンへの職員派遣を見送っている事業所でも地域の健康づくりの支援が実現できるよう、事業所と公民館をオンラインで中継し、双方向でやりとりできるリモート健康教室の開催支援を行った。 ・事業所連携と福祉教育の推進を目的に、盲養護施設に協力を依頼して、小学校と盲養護施設をオンラインで繋ぎ、福岡市で初めてオンライン施設見学を実施した。また、視覚障がい者と小学生の情報交換の場を設け、視覚障がい者の生活の様子を知る機会や、障がいへの理解を深める機会を作った。

## (2) 地域包括支援センターの受託の検討

地域において、地域包括支援センターの個別支援と社会福祉協議会の地域支援が融合するような実践を目指し、地域包括支援センターの受託に向けた取組みを進め、城南第2地域包括支援センターの受託が決定し、令和3年4月開所に向けて事務所の選定・改修工事や職員体制の整備、旧センター受託法人との引継ぎ業務等を行った。

## 7. 権利擁護事業の拡充

### (1) 判断能力が不十分な人の自立に向けた支援の強化～日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人たちが、地域で自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを支援した。

また、判断能力が著しく低下した利用者については、本会による法人後見受任による対応の他、専門職による成年後見等につないだ。

〔対応件数〕	(件)
新規相談受付	216
新規契約	51
累計契約 (平成12年1月～)	1,780

※事業開始からの累計解約件数1,401件 (死亡・施設入所・成年後見制度への移行等による)

〔現契約件数〕 379件 (件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
149	73	154	3

## (2) 法人後見事業の推進

「日常生活自立支援事業」や「ずーっとあんしん安らか事業」等の契約者が、判断能力が低下した後でも安心した生活が送れるよう、「法人後見受任」等により、継続的な支援に取り組んだ。

〔法人後見受任内訳件数〕 (件)

新規受任	累計受任	現受任			終了
12	95	43			52
		認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	
		38	4	1	

〔市民参加型後見人バンク登録者数〕 30人

〔市民参加型後見人活動者数〕 22人

## (3) 市民後見人養成事業の推進 (福岡市委託事業)

これまでに養成した市民後見人養成研修修了者 (市民参加型後見人) に、法人後見事業の実務に必要な知識や技術の習得を目的として、法人後見事業や日常生活自立支援事業の履行補助者として活動先を調整した。また、「福岡市市民後見人スキルアップ研修」は、コロナ禍により活動が一部制限されたこともあり、具体事例による後見人としての動きの振り返りや座学を実施した。

さらに、市民参加型後見人を対象に家庭裁判所に提出する書類作成業務等のOJT研修を行った。  
〔福岡市市民後見人スキルアップ研修〕 全2回

実施日	内容	受講者 (人)
11月12日	・市民参加型後見人業務マニュアル説明 ・モデルケース説明 ・介護保険制度の流れ、介護保険サービス、介護保険外サービス ・意見交換会	30
11月30日	・終末期の自己決定権 ・演習	30

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当日欠席者については動画聴講で対応。

## (4) 成年後見制度利用促進のための中核機関の受託に向けた体制整備 (福岡市委託事業)

### ① 福岡市成年後見制度利用促進体制整備に向けた中核機関設置検討会議

令和3年度に開設が予定されている成年後見制度利用促進を担う中核機関について、福岡市や家庭裁判所、専門職団体 (県弁護士会・県司法書士会・県社会福祉士会) などの関係機関と中核機関の具体的な役割について協議し、課題整理や関係機関との連絡・調整を行った。

〔実施回数〕 5回 〔延参加者数〕 57人

② 中核機関設置検討会議における受任調整会議（試行）

成年後見制度における市長による申立て案件を対象に、試行的に後見人等候補者受任調整会議を開催し、後見人等候補者団体の調整における課題整理を行った。

〔実施回数〕 3回 〔延参加者数〕 55人

③ 三士会（県弁護士会・県司法書士会・県社会福祉士会）委員ヒアリング

中核機関設置検討会議の委員を対象に、個別の案件の概要や専門職が抱える成年後見制度の課題について、聴き取りを行った。

〔実施回数〕 3回（各専門職団体1回ずつ） 〔延参加者数〕 15人

(5) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

金融機関と連携協定を締結し、金融機関の信託サービスの相談者に対して本会が実施している終活関連事業を紹介することで、より幅広い市民層へ自己決定支援の仕組みを提供できるようにした。

また、本会への相談者に対しても、終活に関する財産問題の専門相談窓口として金融機関を紹介することで、老後の資産形成等の選択肢を提供し、相談者のニーズに即した意思決定ができるように体制を整備した。

8. 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育関連事業の見直し構想の実践

「コミュニケーションが難しい障がい（知的障がい、発達障がい）への理解や接し方を学ぶ福祉教育プログラム」や「社会人向けボランティアプログラム集」の周知を行ったほか、公民館での出前講座を行った。

(2) 関係団体との協働による福祉・介護人材確保に向けた啓発事業の推進

福祉業界の喫緊の課題である「福祉・介護人材の確保」に向け、介護・福祉業界の多種多様な団体がつながりその魅力を発信する「ふくおかカイゴつながるプロジェクト2020」（オンライン開催）に実行委員として参加した。また、次世代を担う青少年の福祉に対する関心を喚起し、活動等への参加を促進するための福祉教育のあり方について、第6期地域福祉活動計画策定委員会やボランティアセンター運営委員会などでの場で、関係者から意見を聴取した。

また、外国人介護人材と地域住民等が交流する場づくりを支援し、慣れない生活で困りごとを抱える外国人を、地域の一員として見守り合える地域づくりを支援する「草の根交流プロジェクト」（福岡市委託事業）を実施した。

区	実施日	内容	参加者（人）
西	12月2日	寿生苑・元岡校区社協ふれあいサロン「田鶴」 ・母国の紹介…出身地の位置や観光地、交通手段、食文化、季節の行事などを、写真を見せながら紹介。 ・サロン活動への参加…自己紹介・母国の紹介のあと、サロンのプログラム「色鉛筆ぬり絵」を体験。集合写真を撮影。	外国人材:2 地域住民:15
	3月18日	寿生苑・元岡校区社協ふれあいサロン「泉東わくわくサロン」 ・母国の紹介…出身地の位置や観光地、交通手段、食文化、季節の行事などを、写真を見せながら紹介 ・サロン活動への参加…自己紹介・母国の紹介のあと、生活相談員と3人で「ずんどこ節体操」を行い、集合写真を撮影。	外国人材:2 地域住民:24

### (3) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進

#### ① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

平成27年度に作成した「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」を使用し、個人情報の保護と活用に関する正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授による出前講座を2か所で実施した。

区	校区	内容	参加者(人)
中央	当仁校区ふれあいネットワーク推進会	ふれあいネットワーク研修会	34
	春吉校区社会福祉協議会	ふれあいネットワーク研修会	36

#### (4) 第6期地域福祉活動計画の策定【附属明細書：P.6(別表6)参照】

地域福祉を推進する福祉関係団体、行政機関、学識経験者などから策定委員会を構成し、第6期地域福祉活動計画の策定を進めた。

## 9. 生活困窮者への支援の推進

### (1) 生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携、支援

生活福祉資金の相談時に、離職者を対象とした総合支援資金等を希望する人には、福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業の利用をすすめるとともに、該当する貸付けについて受付を行った。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、収入が減少・途絶した世帯に対して、緊急小口資金(特例貸付)並びに総合支援資金・生活支援費(特例貸付)の相談受付並びに申込受付を行った。

[福岡市生活自立支援センターとの相談連携件数]

区分	件数
① 通常枠	15
② 特例貸付関係(総合支援資金延長貸付・再貸付)	13,715
合計	13,730

[新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付(福岡市社協受付分)]

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
緊急小口資金	34,627	5,879,027,000
総合支援資金(初回・延長貸付)	22,871	15,674,175,000
総合支援資金(再貸付)	3,391	2,144,080,000
合計	60,889	23,697,282,000

また、フードバンク福岡や企業等から提供された食品を、生活困窮者の支援に活用した。

[提供された食品数]

提供を受けた団体等	食品数(食・個)
フードバンク福岡	886
その他企業等	2,126
合計	3,012

## **(2) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化**

社会福祉法等の一部改正において、社会福祉法人に対し「地域における公益的な取組み」が責務として規定されたことに伴い、福岡県社会福祉法人経営者協議会と福岡県社協が主管する「ふくおかライフレスキュー事業」に参画した。

〔支援状況〕 附属明細書：P.7（別表7）参照（令和2年4月～令和3年3月）

## **10. 運営等及びその他**

### **(1) ファンドレイジング推進体制の強化**

地域共生社会の実現に向けて、制度の狭間の問題など、新たな課題の解決にチャレンジし、「あきらめない福祉」を目指す組織体制を維持・発展させるため、ファンドレイジング専任職員を配置し、組織内部の環境整備や財源確保策の検討等を行った。

特に自主財源の確保のため、令和3年度より毎月、定額をクレジットカード払いや口座引落としにより寄付する仕組み（マンスリーサポーター）の導入に向け、ホームページ等の環境整備等を行った。

また、コロナ禍により発生した社会課題解決のため、「緊急支援募金」への寄付を7月から12月に募り、62件（1,520,900円）の寄付を受け付けた。

## 事業項目

### 1. 小地域福祉活動の推進

#### (1) 校区社会福祉協議会強化への支援〈再掲〉(P. 3)[重点項目1(1)]

- 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援【附属明細書:P.7(別表8)参照】  
(共同募金校区社協助成金、共同募金地区福祉事業助成金、賛助会費交付金)  
区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援した。  
〔助成額〕 52,533,700円
- ふれあいランチへの助成・支援  
食事の準備が困難な高齢者や障がい者などに、地域住民がボランティアで週1～2回、食事を配ることにより、安否確認、各種相談等を行って交流を深める活動を区社協とともに支援した。  
また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成した。  
〔実施校区〕 東区美和台校区、南区若久校区 〔助成額〕 480,000円
- 校区社協広報紙の発行に対する助成、広報紙研修会の開催  
〔実施校区数〕 125校区 〔助成額〕 4,838,298円  
〔研修会実施状況〕 区単位:1回
- 校区社協への研修バス等交流事業への助成  
〔助成校区数〕 11校区
- 校区社協未設立校区に対する設立支援

区	校区	内容
東	照葉・照葉北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の民児協定例会時に「社協ワーカーだより」を公民館に持参して校区の状況や、スクールソーシャルワーカーから校区の子ども家庭の現状の情報収集を行った。</li> <li>・照葉北校区においては、令和2年10月に新しく公民館が開館したため、校区担当保健師、地域包括ネットワーク担当主査、港湾局、地域支援課、公民館長、公民館主事を集めての情報交換会を行った。</li> </ul>
中央	警固	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「ふくしのまち福岡」、「社協ワーカーだより」の配布を行った。</li> <li>・避難行動要支援者名簿を活用した見守りマップづくりを支援した。</li> </ul>

#### (2) 地域特性に応じた福祉活動の展開〈再掲〉(P. 3)[重点項目1(1)①]

#### (3) ふれあいネットワーク活動の拡充〈再掲〉(P. 3～4)[重点項目1(1)②(ア)]

#### (4) ふれあいサロン活動の拡充〈再掲〉(P. 4～6)[重点項目1(1)②(イ)]

#### (5) ご近所お助け隊支援事業〈再掲〉(P. 6)[重点項目1(1)③(ア)]

#### (6) 在宅介護者のつどい事業〈再掲〉(P. 7)[重点項目1(1)③(イ)]

#### (7) 安心情報キット、緊急時連絡カードの配付

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いたカードを筒に入れて冷蔵庫で保管することができるキットを一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付した。令和2年10月には、株式会社九電工より、安心情報キット2,000個の寄贈を受けた。また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配布した。

〔安心情報キット配付者数〕 2,211人

〔緊急時連絡カード配布数〕 5,846枚

➤ 救急搬送時医療情報シートの普及促進【南】

平成30年度から医師会と連携し、安心情報キットに救急搬送医療情報シートを封入する  
 取組みへの協力を行った。

(8) 民生委員児童委員協議会との連携

共に地域福祉を推進する民生委員・児童委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議  
 会への活動費を助成した。

〔補助金額〕 7, 188, 300円

(9) レクリエーション用具の貸出【附属明細書：P.8（別表9）参照】

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) 社協ボランティアセンターの取組みの推進〈再掲〉(P.7) [重点項目2(1)]

(2) シニアボランティアに関する取組みの推進〈再掲〉(P.7～8) [重点項目2(2)]

(3) シニア世代の活動支援事業（区シニア地域サポーター養成講座）〈再掲〉(P.7)

[重点項目2(2)①]

(4) 災害ボランティア活動の推進〈再掲〉(P.8～10) [重点項目2(3)]

(5) ボランティア活動情報の収集・提供

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランテ  
 ィアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結び  
 付くよう支援した。

① ボランティアコーディネーション事業

(ア) 個人ボランティア活動相談・登録

(件)

㊤活動相談(合計)	㊦対応状況	相談のみ	その他※	マッチング率(㊦÷㊤)
289	212 (登録107、活動先紹介105)	62	15	73.4%

※「その他」の例

- ・家庭裁判所や自立支援センターからの活動相談に対する調整
- ・芸能ボランティア活動希望者への芸能ボランティア情報冊子記載調整など

(イ) ボランティア依頼

(件)

㊤依頼合計	㊦対応	延べ対応ボランティア数	マッチング率(㊦÷㊤)
579	493	1,773	85.1%

〔依頼内容〕

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	86	遊び相手	17	身体介助	1
話し相手	51	点訳	240	その他	52
日常活動援助	34	家事援助	10		
施設・団体の行事援助	39	朗読	28		
技術・学習指導	20	理美容	1		
合計					579

(ウ) 登録ボランティア内訳

	令和2年度新規登録(人)	現登録(人)
個人ボランティア	107	1,247
ボランティアグループ	5団体・35	218団体・5,567

② 施設等ボランティア情報の周知

市内の福祉施設で募集しているボランティアの情報をまとめた「施設ボランティア募集情報」を配布した。

③ ボランティア情報紙「風」発行

ボランティアセンターに寄せられたボランティア募集やイベント・講座情報、グループ情報などを掲載した情報紙を発行した。

〔発行回数〕 4回（3か月に1回発行）

〔発行部数〕 約2,300部/回

④ 芸能グループ情報冊子発行

ボランティアセンターで把握している芸能グループの情報をまとめた冊子を作成した。

(6) 各種ボランティア養成講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて育成した。また、ボランティアグループの活動を支援した。

① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催した。

実施日	講座内容	受講者(人)
8月20日～11月26日(全13回)	音訳	22
10月23日～10月25日(全3回)	音訳(フォローアップ)	10
6月20日	視覚障がい者外出支援(フォローアップ)	18
10月12日・26日	テキスト訳	※中止
1月28日	パソコン点訳体験講座	※中止
10月15日	点訳(フォローアップ)	51

② 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行うボランティアを養成した。

実施日	講座内容	受講者(人)
9月13日・27日	高齢者外出支援	10

③ 「勤マルの日」事業

誰もが気軽に参加できるボランティア活動拠点を設定し、企業などが独自に企画した自主活動とあわせて行うイベント「勤マルの日」(一斉ボランティア実行Day)事業を、NPOふくおか及び福岡県経営者協会と共催した。(※本事業は令和2年度で開催終了)

実施日	会場	参加者(人)
11月14日 ほか	福岡県内8か所(天神中央公園、警固公園、生の松原海岸、海の中道海浜公園、東領公園、香椎宮境内、中央区弁天橋近辺、北九州脇田海岸) ※うち企業による自主活動が2か所	346

④ 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座の開催

【附属明細書：P.8(別表10)参照】

地域の支え合いや地域の課題解決に向けて、地域で活動するボランティアを養成するため関係機関や関係団体と協力して養成講座を実施した。

(7) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行った。

- ① 登録ボランティアグループの状況調査  
「センター登録ボランティアグループ一覧」を作成した。
- ② 活動拠点・資材・情報の提供  
ボランティアルームなどの活動室、印刷室等の貸出を行った。  
〔件数〕 1, 628件 (延べ7, 114人利用)
- ③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援  
社会福祉の推進を目的とした自主的な活動を支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会へ活動費を助成した。  
〔助成額〕 100, 000円
- ④ 在宅視覚障がい者サービス事業等  
点訳、音訳ボランティアグループが使用する機材の購入、メンテナンスを行った。
- ⑤ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信  
福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、66団体の芸能グループの動画を配信した。
- ⑥ ボランティアグループリーダー交流会  
グループリーダー交流会は新型コロナウイルスの感染症拡大により中止したが、コロナ禍の中でのグループの活動状況の把握と課題を整理するため、登録ボランティアグループにアンケートを実施した。  
〔回答率〕 53. 2% (218グループ中116グループ回答)

### 3. 生活課題解決モデルの開発

- (1) 買い物支援の仕組みづくり〈再掲〉(P. 10～11) [重点項目3(1)]
- (2) 住まい・まちづくりセンターの新設〈再掲〉(P. 11～12) [重点項目3(2)]
- (3) 住まいサポートふくおか(福岡市居住支援協議会事業)〈再掲〉(P. 11) [重点項目3(2)①]
- (4) 住まいと住まい方支援事業(居住支援法人事業)〈再掲〉(P. 12) [重点項目3(2)②]
- (5) 社会貢献型空家バンク事業〈再掲〉(P. 12) [重点項目3(2)③]
- (6) 終活サポートセンター事業の推進〈再掲〉(P. 12～13) [重点項目3(3)]
- (7) 死後事務委任に関する事業(ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業)〈再掲〉  
(P. 13) [重点項目3(3)②]
- (8) 地域力強化事業(福岡市委託事業)〈再掲〉(P. 13) [重点項目3(4)]
- (9) ケアリングコミュニティの研究とICTを利活用した実証実験〈再掲〉  
(P. 13～14) [重点項目3(5)]
- (10) ファミリー・サポート・センター事業の拡充(福岡市委託事業)【ファミサポ】

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めた。

〔会員登録状況〕

(人)

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
5,073	1,078	640	6,791

〔活動内容及び回数〕

(回)

	活動内容	回数
1	子どもの習い事等の場合の援助	1,697
2	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,576
3	保育所・幼稚園の迎え	1,373
4	保護者等の買い物等外出の場合の援助	791
5	保育所・幼稚園の送り	673

	活動内容	回数
6	(その他) 保育所・学校等休み時の援助 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 保育所・幼稚園の送り及び登園前の預かり 学童保育の迎えのみ 等	3,056
	合計	9,166

〔講習会・交流会等の実施〕

- ・ 依頼会員登録講習（支部：月～金曜日、本部：第3土曜日）
- ・ 提供・両方会員養成講習会（4回、受講者延べ324人） ※1回は中止
- ・ フォローアップ講座（1回、受講者延べ7人） ※1回は中止
- ・ 7支部合同会員交流会（1回、参加者88人）
- ・ 提供会員・両方会員懇談会（12回、参加者延べ176人）

#### (11) 子育てサロン・サークルの支援

子育てサロン・サークルの活動内容の充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした、子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施した。

〔コーディネーター件数〕 博多：2件、早良：6件

##### ➤ 子育てサロンへの助成【南】

〔助成状況〕 助成団体数19団体（助成金額190,000円）

#### (12) 車いすや白杖等の貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の外出、通院、社会参加等を支援するとともに、学校・団体等の福祉体験学習等の福祉教育に資するため、車いすや白杖等を貸し出した。

〔貸出件数〕 附属明細書：P.9（別表11）参照

#### (13) 「生活上のよろず相談会」の実施【早良】

早良区に居住又は通勤・通学している人を対象に、相続・遺言・生前贈与、後見制度、年金・社会保険、離婚、債務整理、交通事故等生活上の悩みに関する相談会を実施した。

（相談は、弁護士・行政書士・社会保険労務士が対応。）

〔開催日時〕 毎週火曜日16時～17時30分（祝日、お盆、年末年始除く）

〔場所〕 早良区社協事務所

（※新型コロナウイルスの感染拡大により年度途中からは電話相談に切り替え）

〔相談件数〕 5件

①相談内容		②紹介経路	
遺言	1件	ふくしドームさわら	1件
離婚	1件	窓口・職員	1件
住宅	1件	不明	2件
その他(支払い等)	2件	その他	1件

#### (14) 「子育てリフレッシュ事業」の実施【西】

区	内容	参加者（人）
西	子育て中の保護者を対象に、骨盤ストレッチ等の運動や交流により心身のリフレッシュを図る託児付きの講座を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限をし、2回に分け開催した。	保護者 9 託児 9

## 4. 拠点型地域福祉の推進

- (1) 「地域の子ども」プロジェクト（一部福岡市委託事業）〈再掲〉（P.14）[重点項目4(1)]
- (2) 遺贈と空家の活用による地域福祉の拠点づくり〈再掲〉（P.15）[重点項目4(2)]

## 5. 社会福祉法人等による地域における公益的な取組みに向けての協働

- (1) 事業所ネットワークの支援〈再掲〉(P. 15) [重点項目5(1)]
- (2) 地域課題解決モデル創造事業〈再掲〉(P. 15) [重点項目5(2)]
- (3) 専門スタッフ派遣事業〈再掲〉(P. 16) [重点項目5(3)]

## 6. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化〈再掲〉(P. 16~17) [重点項目6(1)]
- (2) 地域包括支援センターの受託の検討〈再掲〉(P. 17) [重点項目6(2)]

## 7. 権利擁護事業の拡充

- (1) 判断能力が不十分な人の自立に向けた支援の強化~日常生活自立支援事業〈再掲〉(P. 17~18) [重点項目7(1)]
- (2) 法人後見事業の推進〈再掲〉(P. 18) [重点項目7(2)]
- (3) 市民後見人養成事業の推進(福岡市委託事業)〈再掲〉(P. 18) [重点項目7(3)]
- (4) 成年後見制度利用促進のための中核機関の受託に向けた体制整備(福岡市委託事業)〈再掲〉(P. 18~19) [重点項目7(4)]
- (5) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討〈再掲〉(P. 19) [重点項目7(5)]

## 8. 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育関連事業の見直し構想の実践〈再掲〉(P. 19) [重点項目8(1)]
- (2) 関係団体との協働による福祉・介護人材確保に向けた啓発事業の推進〈再掲〉(P. 19) [重点項目8(2)]
- (3) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進〈再掲〉(P. 20) [重点項目8(3)]
- (4) 第6期地域福祉活動計画の策定〈再掲〉(P. 20) [重点項目8(4)]
- (5) 福祉学習の推進(福祉学習教材の提供、出前福祉講座)

学校や、地域、市民、企業に対し、福祉やボランティア活動についての学習の機会を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図るため、障がい者疑似体験等を行う出前福祉講座を実施した。

※令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、視覚障がい者の体験(アイマスク体験)及び高齢者疑似体験は中止した。

[件数] 附属明細書:P.9(別表12)参照

[対象] 学校、公的機関、地域住民、民間団体等

### (6) 広報紙やホームページを通じた情報発信

#### ① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行

福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布した。令和2年度の法人統合に伴い、区社協広報紙は本紙に統合した。

[発行回数] 2回(第122号・第123号)

[発行部数] 16,000部(第122号) ※市版のみ発行

341,600部(第123号) ※市版及び7区版を発行

## ② 社協ワーカーだよりの発行

校区社協や民生委員児童委員をはじめ、地域福祉活動に携わる人や関係機関に対し、月1回「社協ワーカーだよりの発行し、市・区社協の職員（「社協ワーカー」）の役割を啓発するとともに、社会福祉協議会の活動内容の情報を発信した。

## ③ ホームページの運営

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより最新情報の発信を行った。また、令和3年度からのホームページリニューアルに向けて準備を行った。

## (7) 福祉のまちづくり推進大会の開催

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、大会の開催は中止し、事務局から受彰者に表彰状・記念品を発送した。

## (8) 市民福祉プラザの運営

### ① 貸室等運営【附属明細書：P.10（別表13）参照】

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行った。

〔施設全体の利用延人数〕 131,597人

### ② 障がい者作品展、利用団体写真展等の実施

#### (ア) 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせてレストラン内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示した。

〔実施日〕 12月1日～27日 〔参加数〕 7施設・団体、58作品

#### (イ) デジカメ写真入門講座 in ふくふくプラザ

高齢者の社会参加を図ることを目的に、趣味として写真を始めたい人を掘り起こし、写真の知識や楽しさを学ぶデジカメ写真入門講座を開催した。

〔実施回数〕 1回（2日間） 〔参加数〕 17人 ※1回は中止

#### (ウ) バリアフリー映画支援ボランティア入門講座

視覚や聴覚に障がいがある人もない人も共に映画を楽しむことができるよう、映画やDVDに音声や字幕を作成する講座を開催した。

〔実施回数〕 2日間 〔参加数〕 24人

### ③ プラザ相談員研修会の開催

実施日	内容	受講者(人)
9月11日	「支援が必要な方への終活サポート」について	23

### ④ とうにん・ふくふくコンサートの開催

ふくふくホールの「音響の良さ」を十分に活用し、「どなたでも良質な音楽を楽しめる」音楽会を、当仁校区自治協議会、当仁公民館、学校等と共催して開催した。

〔開催回数〕 1回2公演 〔参加者合計〕 270人 ※3回は中止

### ⑤ プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行い、意見をふまえてプラザ運営の改善を行った。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議した。

- ・プラザ入居団体連絡会（年6回）
- ・当仁校区自治協議会連絡会への参加（年6回）
- ・団体連絡室利用団体との懇談会（年1回 参加4団体）

## (9) 市民福祉講演会の開催

「子ども・若者」「高齢者・認知症」問題等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催した。

実施日	内容等	参加者(人)
7月7日	「障がいを社会の価値に変える」～いま求められるユニバーサルマナー～ 講師：(株)ミライロ 日本ユニバーサルマナー会長 岸田ひろ実 氏	※中止
9月18日	「1人の100歩より、100人の1歩」 ～認知症になってもこの家、この地域で暮らしたい～ 講師：はやめ人情ネットワーク顧問 汐待律子 氏	100
12月11日	「大人にかわって家事や介護をする子どもたち」 ～ヤングケアラーについて～ 講師：大阪府立大学教授 隅田好美 氏	86

## (10) 福祉図書・情報室の運営

### ① 利用状況

内容	図書	ビデオ・DVD	インターネット貸出延長
蔵書数	31,134 冊	847 本	
利用状況(貸出数)	9,283 冊	490 本	878 件

[利用者数] 延べ26,376人(新規登録者数236人)

[レファレンス数(調べもの相談)] 553件

### ② 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供した。

[利用者数] 延べ40人

※新型コロナウイルスの感染拡大により、4月4日～5月17日まで休室

(対面朗読は7月31日まで中止)

## (11) 福祉バス事業(福岡市委託事業)

福岡市からの委託を受け、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行った。  
なお、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言等の発出等を受け、8月6日から福祉バスの運行を休止した。

[利用台数] (台)

老人クラブ	障がい児・者団体	公民館高齢者教室	その他	合計
3	0	0	0	3

## (12) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉施設従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施した。

研修対象	研修事業名	受講者(人)	
民間社会福祉施設従事者 社会福祉関係団体職員等	新任職員研修Ⅰ【社会人1年目研修】(2日間)	※中止	
	〃 Ⅱ【2～3年目研修】(2日間)	※中止	
	中堅職員研修(2日間)	30	
	リーダー研修(指導的職員研修)(2日間)	35	
	メンタルヘルスケア研修	31	
	相談援助面接技術研修	※中止	
	救急法研修	第1回	※中止
		第2回	34
		第3回	39
		第4回	※中止
	福祉レクリエーション研修	第1回	※中止
第2回		21	

研修対象	研修事業名		受講者(人)
	接遇研修	第3回	39
		第1回	※中止
		第2回	56
	人権研修		42
合計			327

- (13) 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業【附属明細書：P.11（別表14）参照】  
民間社会福祉施設などに従事する職員の福利厚生の推進を目的に事業を実施した。

加入契約法人数	施設数	加入職員数(人)
130	178	5,123

- (14) 福岡市保育士人材確保事業

福岡市内の保育士人材の確保を目的に、保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人（潜在保育士）への再就職支援のための貸付事業を実施した。

- ① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
54	10,622,610	11,042,250

- ② 就職準備金貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
45	9,961,452	9,961,452

- (15) 福岡市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする「ひとり親家庭の親」を支援するため入学準備金や就職準備金の貸付けを行った。

貸付種類	貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
入学準備金	28	14,000,000	14,000,000
就職準備金	26	5,200,000	3,000,000

- (16) 社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入れを行った。

〔期間〕 8月17日～9月18日 24日間

〔人数等〕 2人（西南学院大学、福岡県立大学）

- (17) 施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付した。

〔対象〕 30法人・30施設 〔補助金額〕 2,064,347円

- (18) 寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進（共同募金配分、奉仕銀行等）

- ① 奉仕銀行運営事業

- (ア) 寄付の受入

本会に寄せられた寄付の受入れを行い、寄付者の意向に沿って社協事業で活用した。

〔寄付金〕

区分	件数	金額
① 市社協事業全般	200	48,686,886
② 権利擁護事業	6	23,583,866

区分		件数	金額
市域の事業	③ 住まい・住まい方に関する相談支援事業	2	8,500
	④ 死後委任事務に関する事業	6	4,111,392
	⑤ 生計困難者に対する相談支援事業	2	25,500
	⑥ ボランティア活動振興基金	0	0
	⑦ その他（緊急支援募金含む）	64	1,670,900
	小計	280	78,087,044
区域の事業	① 東区	5	112,523
	② 博多区	2	150,000
	③ 中央区	3	135,000
	④ 南区	2	103,700
	⑤ 城南区	12	150,000
	⑥ 早良区	1	62,436
	⑦ 西区	1	30,000
小計	26	743,659	
合計	306	78,830,703	

〔寄付物品〕

主な物品名	件数	金額
車いす、タブレット、車両 他	6	3,792,720

#### （イ）福祉団体への配分

市に寄せられた寄付金（補助金）を財源に、奉仕銀行配分金として団体に配分を行った。

〔件数〕 6 団体      〔配分金額〕 668,706 円（備品購入費として配分）

#### ② 「福岡市母子福祉会芙蓉基金」ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行った。

〔助成団体〕 4 団体      〔助成金額〕 276,793 円

#### ③ 歳末たすけあい運動募金配分事業

歳末たすけあい運動募金の配分を受け、福祉作業所の利用者等に対し、見舞金を贈呈した。また、校区社協等の団体が歳末時期に実施する事業の経費を助成した。

事業区分	対象者・団体	件数
助成事業	子育て支援団体	109
	障がい児者支援団体	66
	社会的課題支援団体	8
	交通遺児支援団体	1
	里親会支援団体	1
	地域活動支援センター	11
見舞金品贈呈事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ配布を2回実施)	11 (2,424 パック)

## 9. 生活困窮者への支援の推進

(1) 生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携、支援〈再掲〉(P. 20) [重点項目 9(1)]

(2) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化〈再掲〉(P. 21)

[重点項目 9(2)]

### (3) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図った。

#### ① 貸付件数、資金別相談件数【附属明細書：P.13（別表15）参照】

#### ② 生活福祉資金貸付調査委員会の開催

令和2年度は、調査委員会に諮る案件（福祉資金生業費）の申込みがなかったことにより、開催実績なし。

#### ③ 臨時特例つなぎ資金（再掲）

公的給付制度の申請が受理された住居のない離職者を対象に、当該給付が開始されるまでの生活に必要な資金の貸付相談を行った。なお、令和2年度は貸付けの実績はなかった。

相談	受付	決定	貸付総額
60件	0件	0件	0円

### (4) 福岡市生活保護世帯等一時貸付金事業（福岡市委託事業）

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付けを行った。

区分	貸付		償還（元金）
	件数	金額（円）	金額（円）
生活保護世帯分	2,026	22,630,854	22,174,454
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	0	0	0
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	0
合計	2,026	22,630,854	22,174,454

## 10. 運営等及びその他

### (1) 会務の運営（理事会・評議員会等）【附属明細書：P.14（別表16）参照】

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 評議員選任・解任委員会の実施
- ③ 監査の実施

### (2) 部会、各区校区社協会長会等の開催【附属明細書：P.16（別表17）参照】

校区社協との連携・協働により、地域福祉の推進を図ることを目的として、市域での地域福祉部会、及び各区校区社協会長会を開催した。また、民生委員児童委員、社会福祉施設関係者との連携・協働を図るため、民生委員児童委員部会及び施設部会を、それぞれ書面で開催した。

### (3) 各区運営部会の開催

各区の事業推進や課題等について、地域性や実情を踏まえて審議するための機関である各区運営部会を開催した。

### (4) 職員の資質向上と人材育成（職員研修、資格取得への支援）

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めた。

### (5) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用した。

### (6) ファンドレイジング推進体制の強化（再掲）（P.21）[重点項目10(1)]

### (7) 財源の確保（会員の拡充、寄付つき商品の開発等）

福岡市ボランティア活動振興基金の管理運営を行うとともに、寄付つき商品の仕組みを運用するなど自主財源の確保に努めた。

#### ① 寄付つき商品の開発

社会貢献を希望する企業等とともに、本会への寄付つき商品を開発した。

企業名	寄付内容	実績
翼行政書士・ 社会福祉士事務所 覚書締結日：H26.12.4	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼1件につき200円	54件 10,800円
株式会社Q T n e t 覚書締結日：H28.5.19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき10円 ※令和元年10月から、寄付額＝本数×9.26円(税抜)×1.1	30,448本 310,142円
一般社団法人 プラスらいふサポート 覚書締結日：H28.8.26	「介護施設の入居・身元保証支援」プロジェクト 身元保証の相談1件につき1,000円	8件 8,000円
宗教法人 清法山 徳純院 覚書締結日：H30.1.1	「ずーっとあんしん納骨堂」 本会を含む福祉関係者より紹介・案内があり、納骨につながった場合1件につき1,000円	10件 10,000円
株式会社 大原キャリアスタッフ九州 覚書締結日：H30.11.19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げの2%	4,778円
株式会社マルジュン 覚書締結日：R1.5.28	「地域課題のお片付けプロジェクト」 片付け・清掃1件につき1,000円	10件 10,000円
一般社団法人えにしのかい 覚書締結日：R1.8.6	「あんしん身元保証プロジェクト」 身元保証の契約1件につき2,000円	71件 142,000円
合計		495,720円

※平成25年7月事業開始からの累計 5,473,294円

## ② ボランティア活動振興基金の造成

ボランティア活動振興のために設置した基金に寄付等を積み立て、ボランティア活動を推進するための財源確保に努めた。

内訳	件数	金額(円)
奉仕銀行ボランティア特定寄付金	0	0
福岡市ボランティア活動振興基金補助金	—	102,000
合計		102,000

[令和2年度末基金額] 653,352,554円

## ③ その他の財源の確保

内訳	件数	金額(円)
会費(正会費)	689	1,850,500
会費(賛助会費)	11,221	24,215,000
広報紙広告	4	145,000
車いす等貸出料	—	4,800
外部講師謝礼	—	188,100
実習生受入謝礼	2	96,000
使用済み切手売却益	—	210,000
合計		26,709,400

## (8) 収益事業の実施(市民福祉プラザレストラン運営、自動販売機の設置)

プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用した。

## (9) その他の社協事業

### ① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中で亡なられた人の冥福を祈り、恒久平和への誓いを新たにするため、例年、地域団体とともに死没者追悼式を開催していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、式典は行わず、「福岡市戦没者追悼献花式」に参加した（福岡市と共催）。また、福岡市戦災記念碑前にて本会職員と冷泉公民館・自治協議会の有志による清掃・献花を行った。

実施日	会場	参加者
6月19日	福岡市庁舎1階ロビー	市長、社協会長、遺族会連合会会長、市議会議員 ほか
6月19日	福岡市戦災記念碑前（博多区冷泉公園内）	本会職員、冷泉公民館・自治協議会関係者 11人

### ② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動を続け、その功績が顕著な個人、団体に対し表彰を行った。

〔福岡市社会福祉協議会会長 表彰〕 128人・27団体

〔福岡市社会福祉協議会会長 感謝状〕 286人・48団体

### ③ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を幅広く汲み取り、苦情解決に取り組んだ。

### ④ 友愛訪問事業

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行った。

〔補助金額〕 2,666,096円

### ⑤ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、補助金を交付した。

〔対象〕 3団体 〔補助金額〕 1,830,000円

### ⑥ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し福岡市の補助金を財源として事業費の助成を行った。

〔助成箇所数〕 13か所（内1か所は10月末をもって廃業）

〔助成額〕 4,620,000円

### ⑦ 視察の受入【附属明細書：P.17（別表18）参照】

団体等からの依頼に応じて視察の受入れを行った。（延べ6団体、23人）

### ⑧ 講演等の依頼【附属明細書：P.17（別表19）参照】

団体等からの依頼に応じて講演等を行った。（延べ18団体、1,500人）

# 令和2年度 事業報告

## 【附属明細書】

・別表 1	家族介護者のつどい	P. 1
・別表 2	住民参加型の買い物支援	P. 1
・別表 3	終活出前講座	P. 3
・別表 4	子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）	P. 4
・別表 5	食と居場所づくり団体の交流・情報交換会	P. 5
・別表 6	第6期地域福祉活動計画の策定（策定委員会）	P. 6
・別表 7	ふくおかライフレスキュー事業	P. 7
・別表 8	校区社協の運営及び事業に対する助成・支援	P. 7
・別表 9	レクリエーション用具の貸出	P. 8
・別表 10	校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座	P. 8
・別表 11	車いすや白杖等の貸出	P. 9
・別表 12	福祉学習	P. 9
・別表 13	市民福祉プラザ貸室等利用状況	P. 10
・別表 14	福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	P. 11
・別表 15	生活福祉資金貸付事業	P. 13
・別表 16	会務の運営	P. 14
・別表 17	部会の開催	P. 16
・別表 18	視察の受入	P. 17
・別表 19	講演等の依頼	P. 17

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和3年3月31日現在のもの。

※「中止」「休止」「延期」は、新型コロナウイルスの影響によるもの。

**別表1 家族介護者のつどい**

区	校区・町内・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
東	香陵	12月6日	香陵公民館	16 (介護者以外も含む)
博多	弥生	11月20日	弥生公民館	6
中央	中央区社協	3月15日	浄満寺 門徒会館	8
南	横手	8月19日	横手公民館	12
		2月16日		※中止
	大楠	10月15日	大楠公民館	15
城南	田島	12月9日	よりあいの森 古民家	4
	城南区社協	12月4日	区社協ボランティアルーム	3
早良	野芥	毎月1回 (第3金曜)	野芥公民館	2
	飯原	毎月1回 (第1水曜)	飯原公民館	2
	有田	6月26日	有田公民館	※中止
		2月17日		※中止

**別表2 住民参加型の買い物支援**

区	校区	地区	内容	協力企業・施設等	開催延べ回数
東	青葉	みどりが丘1丁目 自治会	買い物先へ の送迎	株式会社彩苑	8
		みどりが丘2丁目 自治会			
		みどりが丘3丁目 自治会			
	青葉	土井団地2区自治 会	移動販売	株式会社大輝	4
		青葉台自治会			6
	香椎浜		買い物の付 き添い	ボランティアグループ	※休止
香椎東		買い物先へ の送迎	ボランティアグループ、 小規模多機能ホームいや しの宮前	18	
多々良	大橋浜田自治会	買い物先へ の送迎	株式会社彩苑	8	

区	校区	地区	内容	協力企業・施設等	開催延べ回数
	若宮		買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	4
	和白	和白3区町内会	買い物先への送迎	株式会社メモリード	3
博多	千代		移動販売	老人福祉センター長生園、ポパイ	6
	席田	大井	移動販売	久本青果	3
	東光	市住上牟田団地	移動販売	ポパイ	12
	東光		移動販売	医療法人ながら医院	4
	月隈	金の隈新町	買い物先への送迎	医療法人相生会金隈病院	※休止
	板付		買い物先への送迎	社会福祉法人敬愛園アットホーム諸岡	※休止
中央	小笹		買い物先への送迎	株式会社やぐらもん	8
	笹丘		買い物先への送迎	株式会社やぐらもん	7
南	東花畑		買い物先への送迎	総合葬祭西日本典礼やよい坂斎場、イオンストア九州株式会社イオンスタイル笹丘	7
	長丘		買い物先への送迎	株式会社飛鳥飛鳥会館、イオンストア九州株式会社イオンスタイル笹丘	※休止
	西高宮		買い物先への送迎	株式会社飛鳥飛鳥会館、イオンストア九州株式会社イオンスタイル笹丘	※休止
	鶴田	柏原東町内会	買い物先への送迎、移動販売	株式会社飛鳥飛鳥会館、筑前はかたや、ベーカリーチャンプ	※買い物支援バスは休止
	柏原		買い物先への送迎	株式会社飛鳥飛鳥会館	※休止
早良	入部	重留3丁目自治会	買い物先への送迎、移動販売	さわら南よかところネット	11
	早良		買い物先への送迎	さわら南よかところネット	34

区	校区	地区	内容	協力企業・施設等	開催延べ回数
西	能古	北浦・東・江ノ口・西・大泊	サングリン 買い物送迎 ツアー	株式会社サングリン、特別養護老人ホーム能古清和園	7

### 別表3 終活出前講座

実施日	会合名等	開催場所	参加者（人）
7月13日	早良第2いきいきセンター	早良第2いきいきセンター	8
7月17日	ゆうゆうクラブ（老人クラブ）	ウェストヒルズ管理組合集会所	30
7月22日	なみきクラブ（よかトレ、認知症予防）	トリニテ千早	11
7月28日	ふれあいサロンしらゆり会	田隈3丁目集会所	14
8月21日	6丁目ほっとサロン	美和台6丁目集会所	20
9月5日	田村校区社協研修会	田村公民館	40
9月8日	カフェしかた	四箇田公民館	16
9月15日	赤坂校区老後の安心生活講座①	赤坂公民館	70
9月24日	ふれあいサロンはまゆう	田隈まちづくり館	20
10月13日	しもばる学校（香椎下原校区ねんりんクラブ連合会）	香椎下原公民館	48
10月14日	民生委員自立支援部会勉強会	堤公民館	6
10月20日	ふれあいサロンつばめ	生の松原グリーンハイツ集会所	10
10月21日	学びを楽しむ会	天神テルラビル5階	15
10月27日	ふれあいサロンなでしこ	野芥1区町内会集会所	21
10月27日	内浜校区民生委員定例会	内浜公民館	15
11月5日	泉東ふれあいサロンわくわく	泉東集会所	28
11月11日	高木校区社協終活出前講座	高木公民館	20
11月17日	赤坂校区老後の安心生活講座②	赤坂公民館	70
11月17日	奈良屋校区社協	奈良屋公民館	40
11月25日	東若久校区ふれあいサロンあおぞら	御島山集会所	23
2月19日	田島公民館高齢者講座	田島公民館	25
2月25日	ふれあいネットワーク研修	三宅公民館	40
3月13日	石坂1丁目ふれあいカフェ	香椎駅東1丁目2区集会所	17
3月16日	赤坂校区老後の安心生活講座③	赤坂公民館	70
3月23日	赤坂公民館・高齢者教室	赤坂公民館	30
合計		25件	707

別表4 子どもの居場所（立ち上げ・運営支援）

校区・地区		名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
東	美和台	ななカフェ♥こども食堂	○	○	
	香椎浜	ぼてとほうす	○	○	
	舞松原	舞♥my キッチン	○	○	
	箱崎	ぼあんの樹	○	○	○
		無料学習スペースエルトコ			○
	香椎	えがお広場	○	○	
	香住丘	香住丘すまいるキッチン	○	○	
	筥松	はらだ2丁目食堂	○	○	○
	馬出	「子どもサポート・ナルド」馬出こども食堂	○	○	○
	青葉	なかよしキッチン	○	○	
	多々良	ベリーベリーグッドランド	○	○	
		はあとスペース「まちかど図書館」	○	○	
	千早	Oriente 食堂	○	○	
	名島	ふくふく子ども食堂	○	○	
名島げんきもりもりハウス		○	○	○	
博多	那珂	山王学舎こども食堂	○	○	○
	東住吉	麻生塾子ども食堂すみーる	○	○	○
	奈良屋	ふくおかこども「おにぎり塾」「いっぴん塾」	○	○	○
	板付北	いたきたこども食堂	○	○	
	大浜	おおはま寺子屋	○		○
	弥生	やよいの森	○		○
中央	大名	グランマキッチンカフェ	○	○	○
	簗子	子ども食堂 絆	○	○	
	笹丘	笹丘ふれあい食堂	○	○	○
		たんぽぽこども食堂	○	○	○
	当仁	「海と空のひろば」	○	○	
南	長住	子ども勉強広場	○	○	○
	西花畑	のほほんタイム	○	○	
	三宅	ハレルヤ食堂	○	○	○
	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	弥永西	やにしスマイル	○	○	○
		子ども基地ツリーハウス	○	○	○
	東若久	子どものための自学室	○		○
		町内自学塾	○	○	○
城南	七隈	ななっこ料理道場	○	○	

校区・地区	名称	主な機能			
		居場所	食事提供	学習支援	
	田島	ちゃちゃの会	○		
	金山	子どもの居場所	○	○	○
	城南	子どもの居場所（子どもテラス）	○	○	○
	堤	スフィード子ども食堂	○	○	
	別府	別府子ども食堂		○	
早良	有田	こども食堂さい	○	○	
	大原	大原すまいるキッチン	○	○	○
	四箇田	さわら子ども食堂	○	○	
	内野	こども食堂YOKAYOKAネット	○	○	○
	野芥	つくって食べよう土曜昼！	○	○	○
	野芥	野芥フリーハウス むすび食堂	○	○	
	高取	こころふくよか	○	○	
西	姪北	わいわいひろば（※R2年度開催休止）	○	○	
	壱岐東	こども食堂「いきひがし」	○	○	
	城原	子ども食堂「タベルバ」（※R2年度開催休止）	○	○	○
	壱岐南	学 viva	○	○	○
	西陵	寺子屋せいりょう	○		○
	石丸	石丸食堂	○	○	

**別表5 食と居場所づくり団体の交流・情報交換会**

区	実施日	参加団体	参加者(人)	備考
東	3月10日	12団体	23 スクールソーシャルワーカー 5	オンラインにて実施
博多	2月10日	4団体	5 スクールソーシャルワーカー 1	書面にて実施
中央	2月10日	7団体	11 スクールソーシャルワーカー 1	書面にて実施
南	12月24日	5団体	7 スクールソーシャルワーカー 1	
城南	2月10日	6団体	8 スクールソーシャルワーカー 1	書面にて実施
早良	2月19日	8団体	8	書面にて実施
西	2月19日	5団体	5	書面にて実施

別表6 第6期地域福祉活動計画の策定（策定委員会）

実施日	協議題	委員構成 (選出母体)
<p>〈第3回〉 5月</p>	<p>①地域共生社会の実現に向けた取組み基盤としての小地域福祉活動            ②地域共生社会政策の具体化とコミュニティソーシャルワークの展開            ③地域包括ケアと地域福祉の一体的推進を目指す実証実験            ④ファンドレイジングを組み込んだ生活課題解決スキームの開発            ⑤複合機能の形成に向けての関連事業の組み立て            ～地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制づくりのポイントとなる「生活支援の推進策」            〈※書面にて開催〉</p>	
<p>〈第4回〉 10月14日</p>	<p>○第6期地域福祉活動計画 骨子案について            ①総論            ・私たちの未来は、予期せぬ事態、コロナ禍を乗り越えた先にあります            ・私たちが進めるのは、「つながりで“元気”“安心”のまちづくり」です            ②各論            ・重点項目1「住民主体の小地域福祉活動の推進」案について            ・重点項目2「ボランティアによる社会参加の拡大」案について            ・重点項目3「社会課題解決モデルの開発と拡充(3) 終活支援」案について            ・重点項目4「社会課題解決モデルの開発と拡充(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働」案について            ・重点項目5「居住支援の推進と空家・空室(住宅建築ストック)の活用」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区社協</li> <li>・自治協議会</li> <li>・民児協</li> <li>・事業所ネットワーク</li> <li>・社会福祉法人</li> <li>・障がい児者関係</li> <li>・子ども関係</li> <li>・ボランティア団体</li> <li>・大学関係者</li> <li>・企業関係者</li> <li>・学識経験者</li> <li>・行政機関</li> <li>・福岡市社協</li> </ul>
<p>〈第5回〉 11月26日</p>	<p>①総論            ・福岡市社協は、今、こんな活動に取り組んでいます。そして、気づいたこと            ・私たちを取り巻く環境は、急速に、大きく変わっています            ②各論</p>	

実施日	協議題	委員構成 (選出母体)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点項目 3「社会課題解決モデルの開発と拡充(1) 地域の子どもプロジェクト」案について</li> <li>・重点項目 3「社会課題解決モデルの開発と拡充(2) 買い物支援」案について</li> <li>・重点項目 3「社会課題解決モデルの開発と拡充(5) ファンドレイジングを組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり」案について</li> <li>・重点項目 4「権利擁護事業の拡充」案について</li> <li>・重点項目 6「地域福祉を推進するための基盤づくり (1) 個人情報の保護と活用」案について</li> <li>・重点項目 6「地域福祉を推進するための基盤づくり (2) 福祉教育の推進」案について</li> <li>・重点項目 7「地域福祉ソーシャルワーカーの働き」案について</li> </ul>	

#### 別表7 ふくおかライフレスキュー事業

区	参加事業所数	地区連絡会回数	支援件数
東	5	0	1
博多	9	1	0
中央	8	1	0
南	5	0	0
城南	5	0	1
早良	13	2	1
西	14	0	13
合計	59	4	16

#### 《ふくおかライフレスキュー事業》

福岡県内の社会福祉法人が資金・人材・専門性を持ち寄り、生活困窮者が抱える様々な課題を柔軟に解決していくための相談・支援事業。

緊急の対処として、参画する社会福祉法人が拠出した基金を活用し、食材支援やライフラインの復旧等、経済的援助（現物支給）を行う点に、この事業の特質がある。

#### 別表8 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援

区	区分	助成校区数	金額(円)	備考
東	共同募金校区社協助成金	29	4,757,400	
	共同募金地区福祉事業費助成金	27	4,268,100	
	賛助会費交付金	27	5,375,000	前年度実績の50%を助成

区	区分	助成校区数	金額（円）	備考
博多	共同募金校区社協助成金	22	4,008,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	22	4,077,300	
中央	共同募金校区社協助成金	13	2,444,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	13	4,089,100	
南	共同募金校区社協助成金	25	4,429,500	
	共同募金地区福祉事業費助成金	25	4,481,700	
	賛助会費交付金	25	4,552,800	前年度実績の70%を助成
城南	共同募金校区社協助成金	11	2,048,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	11	2,860,000	
早良	共同募金校区社協助成金	24	4,127,600	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	3,874,500	
	賛助会費交付金	24	3,868,200	前年度実績の60%を助成
西	共同募金校区社協助成金	24	4,236,600	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	2,831,900	
	賛助会費交付金	20	980,500	前年度実績の50%を助成

**別表9 レクリエーション用具の貸出**

区	種類	件数（件）	回数（回）
東	タイル輪投げ、スカットボール、ゲームレール、羽根っこゲーム、ペタボード、ラダーゲッター、マジック9	15	23
博多	スカットボール、大型バランスボール、思い出カルタ、唱歌カルタ	6	6
南	輪投げ、カーリング、思い出かるた、スカットボール	7	7
城南	城南ボール	1	1
西	唱和カルタ、体操DVD、スティッキー、すごろく、打楽器類、レクリエーション書籍、ビンゴマシン、輪投げ	18	21

**別表10 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座**

区	校区	開催日	内容	参加者（人）
東	三苦校区社協	10月3日	ボランティア講座	30
博多	席田校区社協	8月24日	席田子育てすくすくサロンサポーター養成講座	25
	大浜校区社協	11月14日	大浜笑顔・いきいき・学びあい講座	30
	板付北校区社協	11月20日	認知症サポーター養成講座	26
	区	2月21日	博多区子育てサポーター養成講座	5
中央	草ヶ江校区社協	9月9日	みんなの認知症見立て塾	40

区	校区	開催日	内容	参加者（人）
南	長住団地自治会	6月13日	認知症勉強会	20
	長住団地自治会	9月1日	高齢者支援会議	11
	横手校区社協	9月29日	認知症研修会	20
	東花畑校区社協	10月17日	社協委員研修会	17
	高木校区社協	11月11日	ボランティア講座	20
	鶴田校区社協	11月25日	校区社協役員研修	12
	柏原校区社協	11月14日	お助け隊えぷろん勉強会	15
	柏原校区社協	11月25日	認知症サポーター養成講座	25
	柏原校区社協	11月29日	高齢者ひとり歩き声かけ訓練	25
	長住団地自治会	12月21日	ユマニチュード講座	24
	日佐校区社協	3月25日	認知症サポーター養成講座	20
早良	飯原校区民児協	7月22日	民生委員研修会	12
	高取校区地区民児協	9月29日	民生委員研修会	26
西	周船寺校区社協	10月24日	ボランティア交流会	23
	内浜校区社協	10月27日	校区社協役員研修	20
	下山門校区社協	11月9日	ボランティア講座	19

**別表 1 1 車いすや白杖等の貸出**

区	車いす	白杖
本部	108 件（延べ台数 318 台）	8 件
東	84 件（延べ台数 119 台）	-
博多	18 件（延べ台数 20 台）	-
中央	36 件（延べ台数 36 台）	1 件
南	77 件（延べ台数 80 台）	-
城南	49 件（延べ台数 51 台）	-
早良	142 件（延べ台数 121 台）	-
西	117 件（延べ台数 143 台）	1 件

**別表 1 2 福祉学習**

区	件数	内容	参加者（人）
本部	5	障がい者疑似体験等	130
東	4	車いす体験、講話	219
博多	1	ユニバーサルデザインとバリアフリー学習提案と福岡市の出前講座紹介	55
中央	6	車いす体験、講話、認知症・ユマニチュード講座	537
南	12	車いす体験、ユニバーサルデザインに関する講話、オンライン施設見学、福祉に関する講話	1,187

区	件数	内容	参加者（人）
城南	1	車いす体験	10
早良	7	車いす体験、視覚障がい者による講話、認知症キッズサポーター養成講座、ユニバーサルデザインに関する講話	489
西	1	車いす体験、アイマスク体験の支援	30

**別表 1 3 市民福祉プラザ貸室等利用状況**

区分		利用状況		
貸出施設	ふくふくホール	利用日数	143 日	
		利用者数	12,252 人	
	会議室（3室）	利用日数	786 日	
		利用者数	18,980 人	
	研修室（7室）	利用日数	1,643 日	
		利用者数	42,163 人	
	和室・実習室（7室）	利用日数	992 日	
		利用者数	14,985 人	
	交流ひろば	利用日数	140 日	
		利用者数	3,943 人	
	計	利用日数	3,704 日	
		利用者数	92,323 人	
	その他の施設	福祉用具展示場	利用者数	5,529 人
		施設見学	団体数	17 団体
利用者数			255 人	
ボランティアルーム等		利用件数	1,628 件	
		利用者数	7,114 人	
福祉図書・情報室		開室日数	296 日	
		利用者数	26,376 人	
		新規登録者数	236 人	
		貸出冊・本数	9,283 冊	
		対面朗読	40 件	
計	利用者数	39,274 人		
利用者総数		131,597 人		
開館日数		302 日		
1日平均利用者数		436 人		

## 別表 1 4 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

### (1) 給付事業

内容		決算額	
種別	単価(円)	件数	金額(円)
結婚祝金	30,000	143	4,290,000
出産祝金	30,000	160	4,800,000
入学祝金	30,000	242	7,260,000
義務教育修了祝金	30,000	96	2,880,000
死亡見舞金		100	2,984,000
本人	100,000	4	400,000
被扶養者	70,000	2	140,000
その他	26,000	94	2,444,000
傷病見舞金	40,000	12	480,000
災害見舞金		1	30,000
全焼(壊)	100,000	0	0
半焼(壊)	70,000	0	0
その他	30,000	1	30,000
小計		754	22,724,000
退会一時金	支給率で算出	644	60,283,858
合計		1,398	83,007,858

### (2) 貸付事業

内容		決算額	
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)
生活資金		2	400,000
5年未満	120,000	0	0
5年以上	150,000	0	0
10年以上	200,000	2	400,000
慶弔資金	250,000	0	0
医療資金	250,000	0	0
入学資金		2	750,000
高校	250,000	1	250,000
大学	500,000	1	500,000
罹災資金	500,000	0	0
合計		4	1,150,000

## (3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5年	5,000	271	1,355,000
10年	10,000	157	1,570,000
15年	10,000	62	620,000
20年	15,000	36	540,000
25年	15,000	24	360,000
30年	20,000	13	260,000
35年	20,000	9	180,000
送料・挨拶状印刷費			103,050
合計		572	4,988,050

## (4) 保養所事業

内容		決算額	
区分	補助額(円)	件数	金額(円)
大人	2,500	10	25,000
小人	1,200	8	9,600
合計		18	34,600

## (5) 文化体育事業

内容		決算額	
区分	補助額(円)等	件数	金額(円)
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限4,000円	5,355	※16,663,150
映画鑑賞補助	費用の一部	5,785	1,981,420
観劇補助	費用の約1/2	0	0
プロ野球観戦補助	費用の約1/2	297	517,607
Jリーグ観戦補助	費用の約1/2	24	36,000
海浜プール利用補助	費用の一部	0	0
スポーツ施設利用補助	費用の一部	0	0
その他補助	費用の一部	7,239	2,138,154
合計		18,700	21,336,331

※文化鑑賞引換券補助…16,663,150円のうち420,000円は、福岡市補助金収入を充当。

## 別表15 生活福祉資金貸付事業

### (1) 貸付件数

#### ①通常枠

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
福祉資金(福祉費)	51	23,364,000
福祉資金(緊急小口資金)	16	1,560,000
教育支援資金	382	121,165,500
総合支援資金	0	0
不動産担保型生活資金	2	27,230,000
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	451	173,319,500

#### ②新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付(福岡市社協受付分)

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
緊急小口資金	34,627	5,879,027,000
総合支援資金(初回・延長貸付)	22,871	15,674,175,000
総合支援資金(再貸付)	3,391	2,144,080,000
合計	60,889	23,697,282,000

#### 【参考】福岡市社協以外の機関の受付・決定状況(福岡市内居住者分)

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
緊急小口資金(福岡県社協受付)	68	12,255,000
緊急小口資金(ろうきん受付)	1,237	13,377,070,000
緊急小口資金(ゆうちょ受付)	421	80,010,000
総合支援資金 (初回・延長貸付/福岡県社協受付)	11	10,500,000
合計	1,737	13,479,835,000

※福岡県社協が事業の主体となっており、福岡市社協では貸付けの相談及び受付を行っている。

### (2) 資金種別相談件数

資金種別	件数
福祉資金(福祉費)	825
緊急小口資金	425
教育支援資金	2,747
総合支援資金(通常枠)	250
不動産担保型生活資金	85
臨時特例つなぎ資金	60
コロナ特例貸付(※)	98,925

資金種別	件数
その他（貸付対象に非該当など）	871
合計	104,188

※新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付（緊急小口資金及び総合支援資金）  
令和2年3月23日から受付を開始した。

## 別表16 会務の運営

### (1) 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者等(人)
<第1回> 6月8日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告</li> <li>・令和元年度収支決算</li> <li>・理事候補者の選任</li> <li>・評議員選任候補者の推薦</li> <li>・決議の省略の方法による定時評議員会の招集</li> </ul>	理事 15 監事 3
<第2回> 12月4日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款の一部変更案</li> <li>・経理規程の一部改正案</li> <li>・副会長の選定</li> <li>・理事候補者の選任</li> <li>・評議員選任候補者の推薦</li> <li>・決議の省略の方法による評議員会の招集</li> </ul>	理事 16 監事 3
<第3回> 3月17日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度第1次資金収支補正予算案</li> <li>・令和3年度事業計画案</li> <li>・令和3年度資金収支予算案</li> <li>・定款の一部変更案</li> <li>・定款施行細則の一部改正案</li> <li>・事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案</li> <li>・事務決裁規程の一部改正案</li> <li>・文書規程の一部改正案</li> <li>・職員の給与に関する規則の一部改正案</li> <li>・役員報酬等に関する規程の一部改正案</li> <li>・委員会委員等の報酬に関する規程の一部改正案</li> <li>・理事候補者の選任</li> <li>・区担当理事の選定</li> <li>・決議の省略の方法による評議員会の招集</li> <li>[報告事項]</li> <li>・社会福祉法人等指導監査結果報告</li> </ul>	理事 17 監事 3

## (2) 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者(人)
〈第1回〉 定時評議員会 6月26日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告</li> <li>・令和元年度収支決算</li> <li>・理事の選任</li> </ul>	24
〈第2回〉 臨時評議員会 12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款の一部変更案</li> <li>・理事の選任</li> </ul>	25
〈第3回〉 臨時評議員会 3月29日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度第1次資金収支補正予算案</li> <li>・令和3年度事業計画案</li> <li>・令和3年度資金収支予算案</li> <li>・定款の一部変更案</li> <li>・役員報酬等に関する規程の一部改正案</li> <li>・理事の選任</li> <li>[報告事項]</li> <li>・社会福祉法人等指導監査結果報告</li> </ul>	27

## (3) 評議員選任・解任委員会の実施

決議があった日	内容等	出席者(人)または 決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 6月19日 (決議の省略)	評議員の選任	5
〈第2回〉 12月15日 (決議の省略)	評議員の選任	5

## (4) 監査の実施

実施日	監査事項等	監事(人)
5月15日～5月22日 (書面により実施)	業務執行の状況及び財産の状況を監査	3

## 別表 17 部会の開催

### (1) 地域福祉部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
〈第1回〉 6月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人統合について（報告）</li> <li>・令和2年度市社協広報紙の発行について</li> <li>・令和2年度校区社協に対する助成事業について</li> <li>・暑さ指数計を活用した声かけ支援（熱中症予防）事業の延期について</li> <li>・令和2年度福岡市福祉のまちづくり推進大会について</li> <li>・令和元年度赤い羽根共同募金等のご報告とお願いについて</li> <li>・第6期地域福祉活動計画策定の進捗報告</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付」の対応状況について</li> </ul>	22
〈第2回〉 11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度熱中症予防声かけ支援事業について</li> <li>・令和2年度共同募金校区社協助成金・地区福祉事業費助成金の剰余の取扱いについて</li> <li>・コロナ禍における地域での「はなれてつながる」取組みについて</li> <li>・新型コロナウイルスの影響下における福岡市災害ボランティアセンターの設置・運営についての考え方について</li> <li>・避難行動要支援者名簿（同意者名簿）のみなし同意について</li> <li>・第6期地域福祉活動計画策定の進捗状況について</li> <li>・地域力強化事業「事例集」の作成について</li> </ul>	27
〈第3回〉 2月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6期地域福祉活動計画策定に伴うパブリックコメントの実施について</li> <li>・コロナ禍における令和3年度ふれあいサロン助成金の運用について</li> <li>・避難行動要支援者名簿の活用について</li> <li>・緊急支援募金について</li> <li>・令和3年度熱中症予防声かけ活動支援事業について</li> <li>・毎月寄付（マンスリーサポーター）の導入について</li> <li>・各種助成事業等について               <ul style="list-style-type: none"> <li>①ご近所おたすけ隊支援事業</li> <li>②子どもの居場所づくりに関する助成事業</li> </ul> </li> </ul>	30

### (2) 施設部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設部会長及び副部会長の選任について</li> <li>・福岡市社会福祉協議会 第6期地域福祉活動計画の策定について</li> <li>・外国人介護人材受入促進事業「草の根交流プロジェクト」について</li> <li>・大都市社会福祉協議会（川崎市大会）の延期について</li> <li>・コロナ禍における各種別での取組み等について（情報・課題・認識の共有）</li> </ul>	（書面開催）20

## (3) 民生委員児童委員部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
2月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員児童委員部会長及び副部会長の選任について</li> <li>・ 福岡市社会福祉協議会 第6期地域福祉活動計画の策定について</li> <li>・ 避難行動要支援者名簿の活用について（意見交換）</li> </ul>	(書面開催)7

## 別表18 視察の受入

日付	団体名	視察内容	人数（人）
10月1日	名古屋市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業	3
11月13日	姫路市議会 創政会	地域との協働による買い物等支援推進事業 （「ふれあいかすみ号」）	3
12月8日	曾於市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパッ ク事業、遺贈	4
12月15日	福井大学 菊地吉信 准教授	住まいサポートふくおか事業、社会貢献型空 き家バンク事業	1
1月15日	江東区社会福祉協議会	校区社会福祉協議会の運営・協働	6
2月2日	江東区社会福祉協議会	ファンディングによる事業開発	6

## 別表19 講演等の依頼

日付	依頼団体・講座名等	講演内容等	人数（人）
4月30日	九州・アジア経営塾セミナー	-	※延期
6月9日	中村学園大学	地域との協働による買い物支援	20
6月10日	笹川保健財団	地域共生社会の実現を目指して	25
6月30日	純真学園大学	ボランティア活動について	600
8月31日	福岡大学医学部看護学科	地域福祉活動の理念と実際	112
9月24日	福岡県社会福祉協議会	ファンディングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパッ ク事業、社会貢献型空家バンク、住 まいサポートふくおか	30
9月25日	福岡県生活支援コーディネ ーター初任者研修	はなれてつながる～コロナ禍でも活動を止め ない～	120
11月12日	福岡県地域福祉活動職員 連絡会	コロナ禍で社協に求められる地域福祉の在り 方について学ぶ	30
11月16日	ふるさと創成の会定例会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパッ ク事業、社会貢献型空家バンク、住 まいサポートふくおか、小地域福祉活動、こども支援	50
11月26日	大分県 居住支援セミナー	ファンディングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパッ ク事業、終活	30

日付	依頼団体・講座名等	講演内容等	人数（人）
		サポートセンター、社会貢献型空家バンク、 住まいサポートふくおか	
11月29日	ニッセイ財団シンポジウム	-	※延期
12月4日	明石市社会福祉協議会	ファンレイジングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパック事業、住ま いサポートふくおか	40
12月18日	大分県社会福祉協議会	コロナ禍における地域福祉活動の展開につい て	50
1月20日	全国居住支援法人協議会 セミナー	ファンレイジングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパック事業、社会 貢献型空家バンク、住まいサポートふくおか (オンライン開催)	18
1月22日	レガシーギフト協会遺贈 サロン	ファンレイジングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパック事業、社会 貢献型空家バンク、住まいサポートふくおか (オンライン開催)	60
1月27日	大牟田市在宅医療・介護 連携（意思決定支援）検 討会	ファンレイジングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパック事業、社会 貢献型空家バンク、住まいサポートふくおか (オンライン開催)	15
2月1日	第一薬科大学 看護学部	住民主体による地域福祉活動と社協CSWの 支援	75
3月6日	日本の地域福祉とファン レイジングフォーラム	ファンレイジングの取組み、ずーっとあん しん安らか事業、やすらかパック事業、社会 貢献型空家バンク、住まいサポートふくおか (オンライン開催)	50
3月8日	地方自治体における居住 支援の取組調査研究事業 第2回全体会議	住まいサポートふくおか（オンライン開催）	35
3月8日	福岡県チームオレンジ・ コーディネーター研修	チームオレンジの立ち上げについて	140
3月9日	九州アジア経営塾セミナー	-	※延期